

知ってる? あなたの身近な 外来種

福島県外来種ハンドブック



令和5年3月 福島県

はじめに

みなさんは外来種のことを知っていますか？人間活動によって、もともと分布していた場所から、別の場所に持ち込まれた生きもののことを外来種といいます。近代以降、人間活動の活発化により、国外あるいは国内の他地域から導入される外来種が増加しています。

福島県においても、600種以上の外来種が県内に侵入・定着していることが分かっています。(令和4年度外来種リスト作成業務より)

外来種が増加すると、福島県の豊かな自然環境、ひいてはわたしたちの暮らしにとって大きな脅威となる場合があります。

このハンドブックは、県民のみなさんが暮らしのそばにいる外来種の存在に気づき、関心をもってもらうことを目的に作成しました。そして、特に注意が必要な28種の外来種について紹介しています。

外来種対策にはみなさんの協力が必要です。福島県の豊かな自然環境をみんなで守っていきましょう。

も く じ

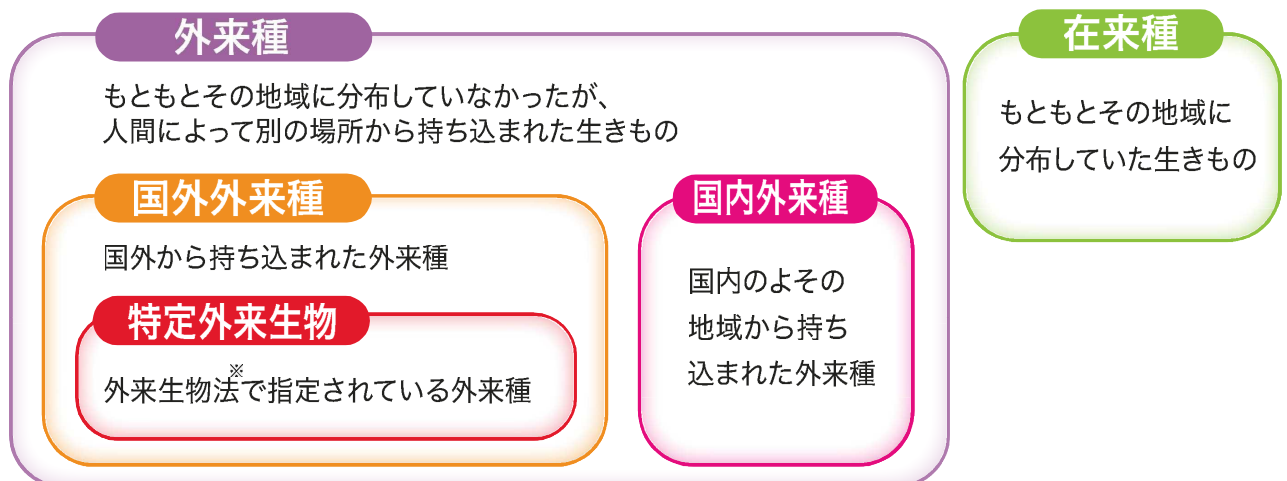
外来種とは	1p
生物多様性と外来種	2p
わたしたちにできること	3p
さがしてみよう！防除してみよう！	4p
知っておきたい外来種	5p
外来種特集ページ	6～55p
こんなときにどうする？	56p
外来種をみつけたときの連絡先	57p

外来種とは

外来種はすべて悪者？

外来種とは、日本国内、国外を問わず、人間の手によって、もともと分布していた場所から別の場所に持ち込まれてきた生きもののことをいいます。

これらの中には、ヒマワリなどの園芸植物やセイヨウミツバチなど、私たちの生活に身近な存在や役立つ存在もあり、すべての外来種が悪者というわけではありません。一方で、一部の外来種は、地域に昔から住み続けている生きものや、わたしたちの暮らしに悪影響を与えるものも存在します。これらは「侵略的外来種」とよばれ、大きな問題となっています。このうち、国外外来種で、生態系や、人の生命・身体、農林水産業への悪影響が特に大きいものを国が「特定外来生物」に指定し、飼育や栽培などを禁止しています。

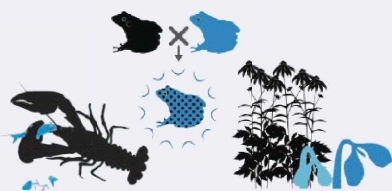


※正式名称：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

※特定外来生物は、飼育や移動、放流、売買などを行うことが原則として禁止され、これらを行う場合は国の許可が必要となります。

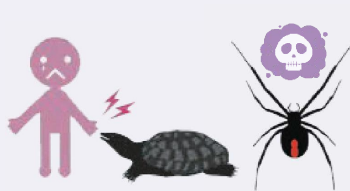
侵略的外来種による問題

1 生態系への影響



- △他の生きものを食べる。
- △近縁の在来種と交雑してしまう。
- △在来種と競合する。

2 人の生命・身体への影響



- △毒をもっている。
- △人を噛む、刺す。

3 農林水産業への影響



- △農作物や、漁業の対象となる魚の食害。
- △畑を踏み荒らす。

生物多様性と外来種

生物多様性って？

地球上には、40億年という長い時間の中で、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれ、山・森・川・海など様々な場所で暮らしています。生きものたちは様々な個性をもち、それらが互いにつながりあって豊かな生態系を作り出しています。こうした生きものの個性やつながりを「生物多様性」といいます。私たちは、食料や水の供給をはじめ、様々な形で生物多様性がもたらす恵みに支えられています。

詳しくは「ふくしま生物多様性推進計画」へ ➡



外来種がもたらす生物多様性の危機

わたしたちが生きていくために欠かすことのできない生物多様性は、現在、危機に瀕しています。その危機の一つとして、外来種の侵入による生態系のかく乱があります。外来種が侵入し、その地域にもともとすんでいた生きもの（在来種）をおそって食べたり、すみかを奪ったり、雑種を作ったりするなどの悪影響を及ぼすことがあります。これにより、生態系のバランスが崩れ、その地域の豊かな自然がなくなる恐れがあります。海外では、たった1種類の外来種の侵入によって、その地域の約200種類の在来種が絶滅した事例もあります。在来種には、長い年月をかけてその地域の環境に適応、進化し、それぞれの地域の限られた場所や環境でしか生活できないものも多く存在します。福島県の豊かな自然を守っていくためには、外来種の侵入を予防することや、侵入した外来種を取り除く取り組みが必要となります。



アメリカザリガニ侵入前後の池の状況(左:侵入前/右:侵入後) ©西原昇吾(中央大学)

わたしたちにできること

1. まずは知りましょう

わたしたちの暮らしのそばにはどのくらいの外来種がいて、どのような問題が起きているのか、そして、被害防止のためには何ができるか、まずは知ることからはじめましょう。

また、生態系や生物多様性に悪影響を及ぼす外来種が拡がらないように心がけたい3つの行動「外来種被害予防三原則」を守りましょう。



1 悪影響を及ぼす おそれのある外来種を “入れない”

外来種による問題をおこさないために一番大切なことです。
入れなければ問題は起きません。



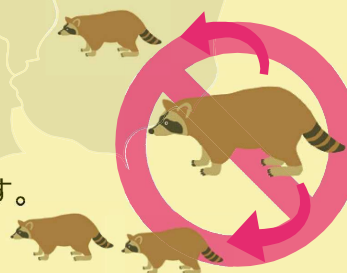
2 飼養している 外来種を野外に “捨てない”

入れた外来種は、適切に管理(捨てない(逃さない))しなければいけません。ペットとして飼っている生きものは、最後まで飼う責任があります。



3 すでに野外にいる 外来種を他地域に “拡げない”

生態系や生物多様性に悪影響を及ぼす外来種は、まだ定着していない地域に拡げないことが大切です。
これ以上問題を拡げてはいけません。



2. 外来種をさがしてみよう

早期発見が、外来種対策の第一歩です。このハンドブックを片手に、あなたの暮らしのそばに外来種がいないかさがしてみよう。(詳しくはP.4へ)



3. 外来種の防除活動に参加・協力しましょう

生態系などに悪影響を及ぼす外来種を拡げないためには防除をするしかありません。福島県内でも様々な外来種の防除活動がおこなわれています。ぜひ、参加してみよう。



さがしてみよう！防除してみよう！

あなたの身の周りの外来種をさがしてみましょう



外来種は一度定着してしまうと、根絶が非常に大変です。

外来種の定着を防ぐためには、早期発見・早期防除が重要となります。早期発見のカギは、生活の中で一人ひとりが外来種の存在に気を配ることです。皆さんもこのハンドブックを片手に、暮らしのそばにいる外来種をさがしてみませんか？

このハンドブックに掲載されている外来種をみつけたら

このハンドブックに掲載されている外来種をみつけたら、P.57にある市町村や県の窓口に連絡しましょう。また、P.6以降の各ページの防除方法を参考に、無理のない範囲で防除をしてみましょう。防除の際は、長袖、長ズボン、帽子、手袋、長靴、首にタオルを着用し、安全第一で作業しましょう。



**防除活動は様々な規則や法令を遵守することが必要です。
規則や法令を事前に確認してから始めましょう。**

防除する際の注意点(法令関係)

- ☐ **土地所有者、管理者の承諾**
事前に相談し、駆除の承諾をもらいましょう。
- ☐ **特定外来生物の取り扱い**
生きたまま運搬することが原則禁止されています。
その場で適切な処分ができるよう準備しておきましょう。
- ☐ **ほ乳類や鳥類の捕獲**
鳥獣保護管理法[※]で捕獲が規制されているため、捕獲の際は市町村や県へ相談しましょう。
※正式名称:鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
- ☐ **水産動物の捕獲**
使用する漁具や魚種、時期によっては手続きが必要となる場合があります。
捕獲の際は、事前に県や水産試験場、漁業組合に相談しましょう。
- ☐ **場所による規制**
場所によっては伐採や動植物の捕獲が規制されていることがあります。
防除を計画している場所が、自然公園や史跡名勝天然記念物などの規制のかかる区域かどうか、事前に市町村や県に相談の上、必要な手続きをとりましょう。

知っておきたい外来種

以降のページでは、みなさんの暮らしのそばにいる外来種のうち、特に対策が必要な種や、まだ福島県内に侵入していないものの、侵入したときの影響が大きい種を28種ピックアップし、その特性や防除方法などをまとめました。

ほ乳類

アメリカミンク	… 6p
アライグマ	… 8p
ハクビシン	…10p

鳥類

ガビチョウ	…12p
ソウシチョウ	…13p

両生類 は虫類

アカミミガメ	…14p
ウシガエル	…16p

魚類

オオクチバス	…18p
コクチバス	…20p
チャネルキャットフィッシュ	…22p
ブルーギル	…24p

甲殻類

アメリカザリガニ	…26p
ウチダザリガニ	…28p

昆虫類

クビアカツヤカミキリ	…30p
サビイロクワカミキリ	…32p
ツヤハダゴマダラカミキリ	…33p
ヒアリ・アカカミアリ	…34p

植物

アレチウリ	…36p
園芸スイレン	…38p
オオキンケイギク	…40p
オオハンゴンソウ	…42p
オランダガラシ	…44p
キショウブ	…46p
コウリントンポポ	…48p
コカナダモ	…50p
ナルトサワギク	…52p
ハリエンジュ	…54p

アメリカミンク

科 イタチ科

原産地 北アメリカ

大きさ 頭から尻までの長さは約35～45cm、
尾長は30～40cm
オスよりもメスのほうが小さい



胴長短足で
流線型の体形

原種は褐色だが、養殖個体は
白色、青灰色、黒色など様々

©横田清美

あしあと

前足



後足



似た生物との見分け方

テン



夏毛は暗い黄褐色で頭部が黒色です。冬毛は明るい黄褐色で頭部が白色です。

ニホンイタチ



口元が白く、全身が茶褐色です。
アメリカミンクやテンよりも小さいです。

カワウソ



©アクアマリンふくしま

ユーラシアカワウソ

ニホンカワウソは絶滅しています。背面は茶色、喉から腹部は白色です。よく似ていますが、違いを観察してみましょう。

生態

生態はよくわかっていません。
河川、湖沼、海岸付近などの水辺に生息しています。泳ぐこともできます。
夜行性ですが、日中も活動します。肉食性で、小型ほ乳類、鳥類、両生類、甲殻類、魚類などを捕食します。

生活史

年1回繁殖し、春に平均2～10頭の子を産みます。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

ほ乳類

特定外来生物

主な被害

生態系 在来イタチ類と競合します。
カエル等の在来動物が捕食されます。

産業 水産物、農作物が食害されます。

生活 養魚場や個人宅にある池の
コイなどが捕食されます。



アメリカミンクの死体とヤマメ

☑ 防除方法

☐ 個体や痕跡を見つけよう!!

アメリカミンクを目撃したり、足跡や食べ痕を確認したらすぐに市町村または県に連絡しましょう。早期対応がもっとも重要です。

☐ 侵入や被害を防ごう!!

侵入や被害防止には、養魚場や池などを細かい網目のネットや電気柵で囲いましょう。見回りを定期的に行いましょう。

☐ 捕獲で数を減らそう!!

分布拡大防止や根絶には捕獲が必要です。捕獲する場合は、市町村または県に必ず相談の上、捕獲許可の手続き等を取ってください。(→P.57)



©伊原禎雄

アメリカミンクの足跡



©伊原禎雄

箱わなで捕獲

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

阿武隈川流域でアメリカミンクが食べていたものを調べると、アメリカザリガニがよく食べられていました。餌となるアメリカザリガニを駆除せずに放置すると、アメリカミンクがさらに増えて分布を拡大するおそれがあります。アメリカミンクの駆除はもちろん、その餌となるアメリカザリガニも駆除することが重要です。



©伊原禎雄

アメリカミンクの食べ痕
(アメリカザリガニ)

アライグマ

科 アライグマ科

原産地 カナダ南部からパナマ

大きさ 頭から尻までの長さは約40～60cm、
尾長は20～40cm

尾に黒いリング状の模様(4～7条)

目の周囲には黒いマスク模様

あしあと

前足



後足



体色は灰白色の場合が多い

指は長く、5本指の跡がつく

©環境省

似た生物との見分け方

タヌキ



体色は茶色です。尾は短く、縞模様はありません。



前足



後足

アナグマ



ずんぐりした丸っこい体形です。尾は短く、縞模様はありません。



前足



後足

ハクビシン(外来種)



顔の中央に白い線があります。尾は長く縞模様はありません。



前足



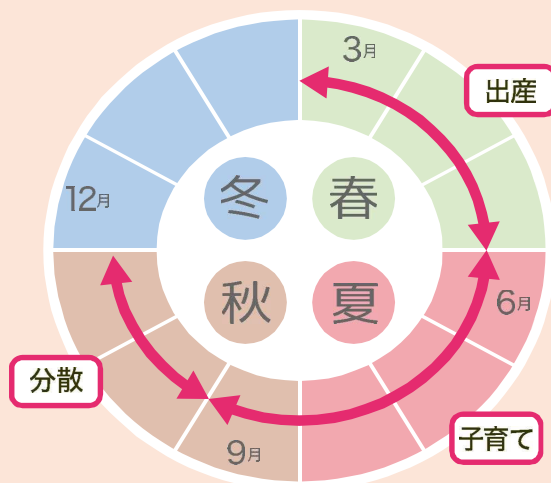
後足

生態

主に夜行性です。雑食性で、野菜から小動物まで多様な餌を食べます。森林、湿地、市街地などの幅広い環境に生息し、水辺環境を好んで餌場とします。木登りがうまく、家屋の屋根裏に住み着くこともあります。

生活史

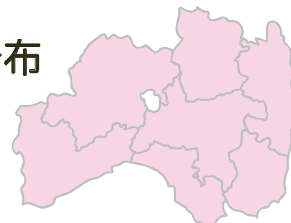
年1回繁殖し、春に平均3～6頭の子を産みます。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

ほ乳類

特定外来生物

主な被害

- 生態系** 小鳥類、サンショウウオなどの在来動植物が捕食されます。
- 産業** 農作物が食害されます。
- 生活** 家屋の屋根裏、小屋、文化財(社寺仏閣)への侵入、糞尿被害などがあります。
- 健康** アライグマ回虫症、狂犬病などの人への感染のおそれがあります。

※2022年時点で野外個体からの確認はありませんが、むやみな接触は避けましょう。



アライグマの食べ痕(スイカ)

防除方法

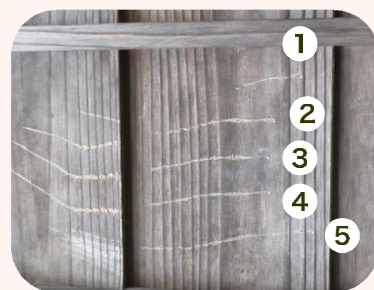
□ 個体や痕跡を見つけよう!!

アライグマを目撃したり、足跡や食べ痕を確認したらすぐに市町村または県に連絡しましょう。早期対応がもっとも重要です。

□ 侵入や被害を防ごう!!

侵入や被害防止には、侵入口を塞ぎ、畑などを電気柵やネットで囲いましょう。見回りを定期的に行いましょう。また、餌となるものを放置しないことも重要です。

※農林水産省が中型獣類の被害対策についての詳細なマニュアルを作成しています。詳しくはこちら



アライグマの爪痕①～⑤

□ 捕獲で数を減らそう!!

拡大防止や根絶には捕獲が必要です。捕獲する場合は、市町村または県に必ず相談の上、捕獲許可の手続き等を取ってください。(→P.57)



箱わなで捕獲

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

アライグマは高い繁殖力と移動能力を持っています。北海道の事例では、捕獲により個体数を減らしましたが、わずかな残存個体による繁殖や周辺からの新規移入などによって、翌春には捕獲前の個体数に戻ってしまいました。テレビアニメなどの影響で可愛らしいというイメージがあり、「駆除はかわいそう」という意見もありますが、被害の実態や防除の必要性を正しく理解してください。

ハクビシン

科 ジャコウネコ科

原産地 東南アジア

大きさ 頭から尻までの長さは約60cm、
尾長は40cm

額の下から鼻先にかけて白線が入る

体は灰褐色

顔と四肢の
下部は黒褐色

あしあと

前足



後足



似た生物との見分け方

タヌキ



体色は茶色で、尾は短い
です。顔に白線はありません。



前足



後足

アナグマ



ずんぐりした丸っこい体
形で、尾は短い。顔
に白線はありません。



前足



後足

アライグマ(外来種)



体色は灰白色の場合が多い
です。尾に黒いリング状の
模様があります。(4~7条)



前足



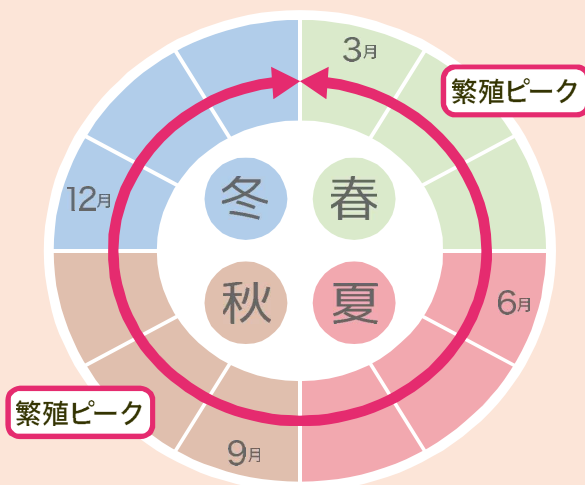
後足

生態

夜行性ですが、日中も活動します。雑食性で、果実や種子などを好みますが、昆虫類や両生類、甲殻類、魚類、鳥類とその卵、残飯など幅広く採食します。山地から農村周辺に生息し、市街地にも定着しています。

生活史

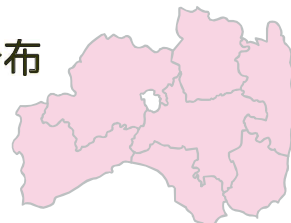
通年繁殖し、春と秋に繁殖のピークがあります。2~4頭産みます。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

ほ乳類

主な被害

生態系 在来動植物が捕食されます。
タヌキなどの生態が似ている在来動物と競合します。

産業 農作物(特に果樹)が食害されます。

生活 家屋の屋根裏、小屋、文化財(社寺仏閣)への侵入、糞尿被害などがあります。



©古谷益郎

ハクビシンの糞尿被害

☑ 防除方法

☐ 個体や痕跡を見つけよう!!

ハクビシンを目撃したり、足跡や食べ痕を確認したらすぐに市町村または県に連絡しましょう。早期対応がもっとも重要です。

☐ 侵入や被害を防ごう!!

侵入や被害防止には、侵入口を塞ぎ、畑などを電気柵で囲いましょう。見回りを定期的に行いましょう。※

また、餌となるものを放置しないことも重要です。

※農林水産省が中型獣類の被害対策についての詳細なマニュアルを作成しています。詳しくはこちら



©古谷益郎

ハクビシンによるブドウ被害

☐ 捕獲で数を減らそう!!

分布拡大防止や根絶には捕獲が必要です。捕獲する場合は、市町村または県に必ず相談の上、捕獲許可の手続き等を取ってください。(→P.57)

トピック

ハクビシンは、江戸時代の書物に「雷獣」として描かれていたことなどから、在来種か外来種かについて、近年まで明確な結論は出ていませんでした。近年の研究で遺伝子を調べた結果、日本に生息するハクビシンの起源は台湾に由来するものであることがわかりました。



ガビチョウ

科 チメドリ科

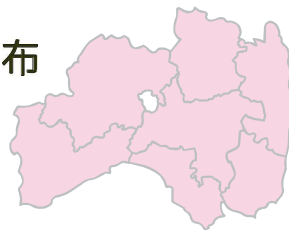
原産地 中国中南部、海南島、台湾、香港、
ベトナム北部、ラオス北東部

大きさ 全長25cm程度
(ヒヨドリより少し小さい)

● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

鳥類

特定外来生物



主な被害

生態系

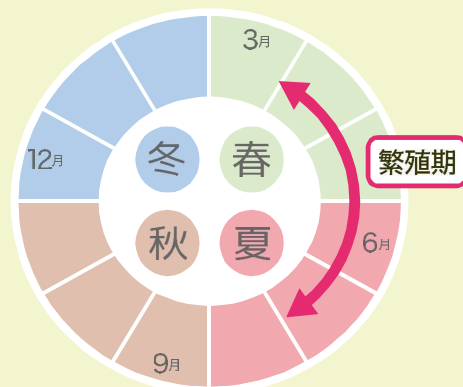
ハワイではガビチョウが侵入してから在来鳥類が減少した報告があることから、在来鳥類の繁殖などへの悪影響がある可能性があります。

生活

住宅地では鳴き声による騒音が問題となることがあります。

生活史

繁殖期は4～7月で、1回に4～5個の卵を産みます。



生態

主に地上で昆虫や果実などを食べます。丘陵地、平野部の低木林や竹林に生息し、特にやぶの中を好みます。定着性が強く渡りをしない留鳥です。さえずりは大きな声で複雑に鳴きます。

時折、他の鳥のさえずりを真似することがあります。

☑ 防除方法

☐ 個体を見つけて連絡しよう!!

2種とも大きな声で鳴きます。やぶの中や竹林など好んで生息する場所で探してみましょう。ガビチョウもソウシチョウも、現状では防除方法は確立しておらず、一度定着すると防除は難しいです。しかし、福島県内での生息状況把握のため、見つけたら市町村や県に連絡しましょう。(→P.57)

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

ソウシチョウ

科 チメドリ科

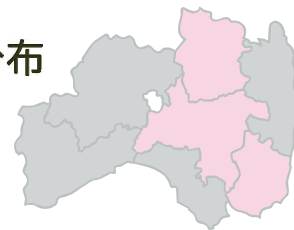
原産地 中国中部・南東部、ヒマラヤ西部、
インド・アッサム地方、東南アジア北部

大きさ 全長15cm程度
(スズメより少し大きい)

● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

鳥類

特定外来生物



主な被害

生態系

ウグイスなどの営巣環境が似ている在来鳥類の繁殖への悪影響があります。営巣場所に捕食者を誘引します。

生活

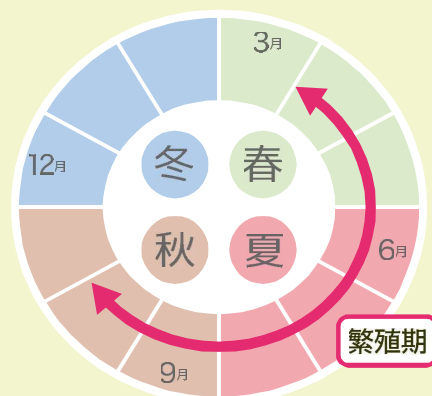
住宅地では鳴き声による騒音が問題となることがあります。

生活史

繁殖期は4～10月で、1回に3～4個の卵を産みます。

生態

雑食性で、昆虫や果実などを食べます。標高の高い地域(1,000m程度)のササの多い落葉広葉樹林で繁殖し、越冬期には低標高地に移動する漂鳥で、竹林やササやぶを好んで生息します。「キョローン」など大きな声で鳴きます。



トピック

ガビチョウやソウシチョウの分布拡大の要因は、原産地と気候や森林環境が類似していることその他、里山での草地や雑木林の手入れがされなくなったことによってやぶ環境が増えたことが指摘されています。わたしたちの暮らし方は地域の自然、生態系とも密接につながっていることがよく分かる例です。

アカミミガメ

科 ヌマガメ科

原産地 北アメリカ

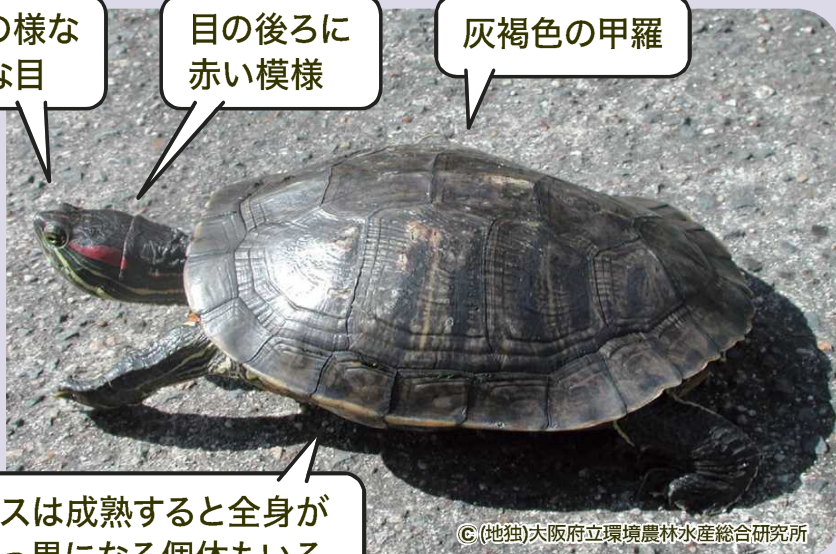
大きさ 20~28cm

ヤギの様な
横長な目

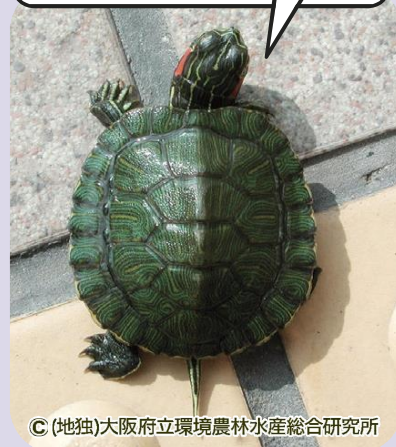
目の後ろに
赤い模様

灰褐色の甲羅

オスは成熟すると全身が
真っ黒になる個体もいる



幼体は鮮やかな緑色
(通称「ミドリガメ」)



似た生物との見分け方

ニホンイシガメ(福島県では国内外来種)



甲羅の背側は黄土色で、甲羅の腹側は黒色です。目は黒くて丸いです。手足や尾の一部がオレンジ色になる個体もいます。

クサガメ(外来種)



体は黒く、甲羅の背側に3本の隆起があります。首に黄色い線がありますが、オスは成熟すると全身が真っ黒になる個体もいます。

ニホンスッポン(福島県では国内外来種)



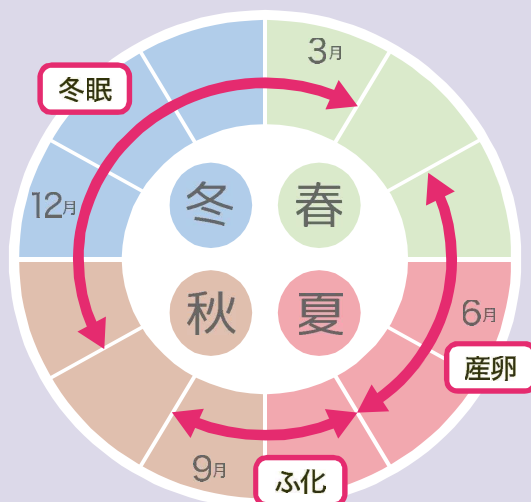
長い鼻をもちます。水かきが発達し、腹は白色やクリーム色をしていて柔らかいです。

生態

河川、湖沼、人工的な池や水路などに生息します。日光浴を好みます。雑食性で、魚類、両生類、水生昆虫、水草などを食べます。

生活史

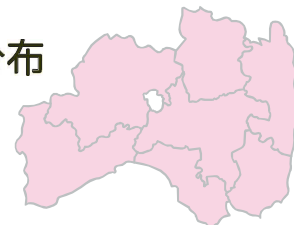
5~7月に、土手や畑などの陸地で産卵します。1度に20個を超える卵を産みます。飼育下では40年以上飼われた個体もあり、とても長生きです。



● 生息場所



● 分布



● 分類

は虫類

特定外来生物

(2023年6月から)

：分布地域

主な被害

生態系 在来のカメと場所や餌をめぐって競合します。水草を減少させます。

産業 レンコン(ハス)などを食べます。

健康 アカミミガメなどを感染源とするサルモネラ感染症の事例があります。



アカミミガメがいる状態



アカミミガメがいなくなった状態

アカミミガメがいなくなったことによって水草が回復しました

☑ 防除方法

☐ 飼っているアカミミガメは逃がさない!!

- アカミミガメの寿命は10年以上と言われ、とても長生きです。安易に持ち帰ることはせず、最後まで飼育できるか、よく考えましょう。
- 野外にアカミミガメを逃がすことは法律(外来生物法)で禁止されています。最後まで責任をもって飼育しましょう。

☐ わなでつかまえよう!!

- かごわなや日光浴わなで捕獲し、数を減らしましょう。
- 冬眠後で産卵前の春から初夏にかけて捕獲すると、個体数を減らす上で効率的です。
- 安全に注意しながら、学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)



かごわな

※特定外来生物ですが、アカミミガメとアメリカザリガニは一般家庭での飼育および無償での譲渡のみ認められています。

トピック

アカミミガメの子どもは「ミドリガメ」と呼ばれ、小さく、きれいな緑色をしています。1950年代から日本に輸入され、ペットとして人気でしたが、大きくなって飼えなくなり捨てられたものや逃げ出したものが野外に住み着き、繁殖力の強さから数を増やしていきました。

ウシガエル

科 アカガエル科

原産地 北アメリカ

大きさ 15～16cm

緑色の顔

目の後ろに
丸く大きな鼓膜

日本最大のカエル

繁殖期のオスは、
ウォー、ウォーと
牛に似た声で鳴く

似た生物との見分け方

アズマヒキガエル



全身にイボがあり、大きさは4～16cmです。大人になるとウシガエルと同じくらいの大きさになります。繁殖期のオスは、クックツと鳴きます。

トウキョウダルマガエル



背中線をもち、大きさは4～9cmです。繁殖期のオスは、グルルル、グルルルと鳴きます。

ツチガエル※



全身にイボがあり、大きさは4～5cmです。繁殖期のオスはギュー、ギューと鳴きます。

※東北地方の太平洋側と関東地方、中部地方の一部に生息する個体は、2022年にムカシツチガエルとして新種記載されました。

生態

湖沼やため池などの止水域、河川や水路の緩やかな流れの周辺に生息します。夜行性です。肉食性で、昆虫、ザリガニ、魚類、両生類などを食べます。

生活史

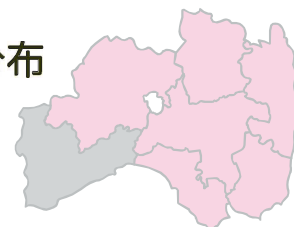
繁殖期は5月から9月上旬です。生まれたウシガエルは、オタマジャクシのまま越冬します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

両生類

特定外来生物

主な被害

生態系 昆虫、甲殻類、魚類などを食べます。在来のカエルと競合します。

☑ 防除方法

☐ カエルやオタマジャクシをつかまえよう!!

- かごわなを設置して捕獲しましょう。かごわなには、在来のカエルなど他の生物も入るので、おぼれないように浮き(空ペットボトルなど)を入れ、毎日見回しましょう。
- ウシガエルは夜行性のため、夜に釣りをするのも効率的です。
- たも網などを使ってオタマジャクシや卵を捕獲しましょう。5～9月頃に、水面に広がる大きな卵の塊を見つけたら、それはウシガエルの可能性が高いです。よく観察してみましょう。
- ため池の水を抜いての捕獲も、個体数を減らす上で効率的です。また、冬の間にため池の干し上げをすると、オタマジャクシを全滅させることもできます。いずれの場合も在来種への影響を考え、慎重に実施する必要があります。
- オタマジャクシの姿で越冬するカエルは、ウシガエルの他に在来種のツチガエルもいます。ツチガエルは腹面と尾に銀白の点々があります。ウシガエルはより大型で、緑がかった背面と尾に白色と暗色の点々があります。冬季の駆除の際には間違わないようにしましょう。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)



卵塊



オタマジャクシ

※ 特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

ウシガエルがいる池では在来種のツチガエルは減ってしまいます。ところが、同じ池に外来種のコイが生息していると、コイがウシガエルを食べ、結果的にツチガエルはそれほど減らないという事例報告もあります。外来種がいる生態系を管理するときは、生物同士の関係を考慮することが重要です。



オオクチバス

科 サンフィッシュ科

原産地 北アメリカ

大きさ 全長30～50cm



©アクアマリンいなわしろカワセミ水族館

ラージマウスバスともよばれ、典型的な肉食魚で、その大きな口で獲物を一気に食べる

生態

湖沼を主なすみかとし、河川では流れの緩やかなところに生息します。また、汽水域にも生息します。

生活史

春から秋にかけて、水草や障害物がある岸辺近くで活発に餌を求めて動き回ります。晩秋には深いところへ移動し、厳冬期には沈木などの障害物の間で群れをなして越冬します。5～7月に産卵します。

似た生物との見分け方

コクチバス(外来種)



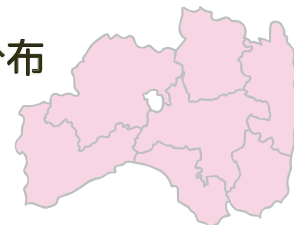
口が小さく、上あごの後端が眼の中央下までしか達しません。エラの先が白いです。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

魚類

特定外来生物

主な被害

生態系 魚類、甲殻類、両生類、水生昆虫などを捕食することにより在来種が減少します。

産業 アユなどの漁業資源の捕食により漁業に影響を与えます。

☑ 防除方法

☐ 分布を拡げない!!

- 釣ったりすくったりなどして捕獲した個体は、絶対にほかの水域に移動させてはいけません。

☐ 繁殖抑制と個体の捕獲が基本!!

- 繁殖抑制は、自然の産卵床を探したり、ブロックなどを置いて人工的に産卵床をつくり、卵や仔稚魚を除去することが効果的です。
- 個体の捕獲としては、産卵前のメスや、産卵床にいるオスを捕まえて卵や仔稚魚を守れなくすることが効果的です。
- 釣りによる駆除は、ルアー釣りより、ミミズを使った餌釣りの方が効率的です。

☐ 相談して安全に実施!!

- 水深のある池や川での作業となるので、安全面に注意し、学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

福島県では、繁殖抑制技術の開発が先進的に行われています。田子倉湖(只見町)では、フロート式人工産卵床が導入され、急深な地形で水位変動が大きい場所での産卵誘導と駆除に成功しました。また、さくら湖(三春町)でも、ダムの水位を操作し、産卵床を干上がらせることで効率的に繁殖抑制ができました。



©福島県内水面水産試験場

フロート式人工産卵床(田子倉湖)

コクチバス

科 サンフィッシュ科

原産地 北アメリカ

大きさ 全長30～50cm

スモールマウスバスともよばれ、
オオクチバスより口は小さい

体側の比較的目立つ斑紋は、
興奮するともっと濃くなる

成魚では
エラの先が白色



生態

オオクチバスより低水温を好み、湖沼やダム湖などの止水域ではやや深い所に生息します。河川では流れのあるところにも生息します。

似た生物との見分け方

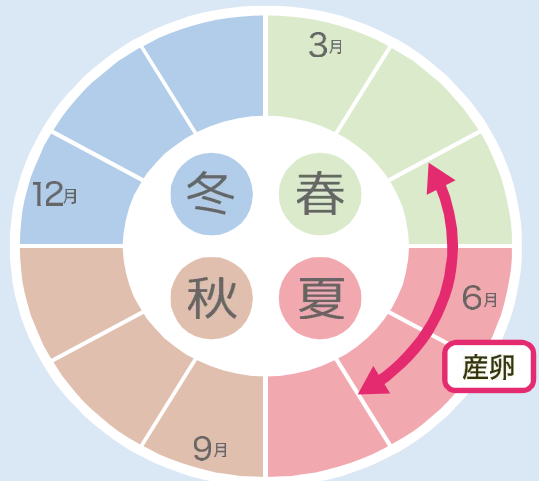
オオクチバス(外来種)



口が大きく、上あごの後端が眼の後端の直下よりも後ろに達します。エラの先は白くありません。

生活史

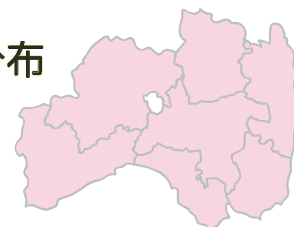
春から初夏にかけて、オスが浅瀬に産卵床をつくり、メスが産卵します。オスは巣で孵化した仔稚魚を保護し、最大2,000匹の稚魚が保育されます。稚魚は10mmを超えると独り立ちします。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

魚類

特定外来生物

主な被害

生態系 魚類、甲殻類、両生類、水生昆虫などを捕食することにより在来種が減少します。

産業 アユなどの漁業資源の捕食により漁業に影響を与えます。

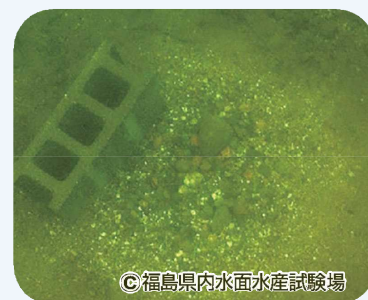
☑ 防除方法

☐ 分布を拡げない!!

- 釣ったりすくったりなどして捕獲した個体は、絶対にほかの水域に移動させてはいけません。

☐ 繁殖抑制と個体の捕獲が基本!!

- 繁殖抑制は、自然の産卵床を探したり、ブロックなどを置いて人工的に産卵床をつくり、卵や仔稚魚を除去することが効果的です。
- 個体の捕獲としては、産卵前のメスや、産卵床にいるオスを捕まえて卵や仔稚魚を守れなくすることが効果的です。
- 釣りによる駆除は、ルアー釣りより、ミミズを使った餌釣りの方が効率的です。



人工産卵床のようす(羽鳥湖)

☐ 相談して安全に実施!!

- 水深のある池や川での作業となるので、安全面に注意し、学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

福島県では1992年に桧原湖ですでに定着していることが確認されました。その後、分布域が急激に拡大しており、中通り地方、会津地方を中心に確認記録があるほか、浜通り地方の真野川流域においても確認記録があるなど県下全域に拡大してしまいました。



チャネルキャットフィッシュ

科

イctalurus科

原産地

カナダ、北アメリカ、メキシコ北部

大きさ

全長70cm

別名アメリカナマズ
とも言われる

背びれと胸びれに極めて
鋭いトゲを持っている

口ひげは4対8本

尾びれは深く
切れこんでいる

似た生物との見分け方

ギギ(福島県では国内外来種)



稚魚の姿は似ていますが、幼魚の姿で比べると、チャネルキャットフィッシュは銀白色の体に黒色の斑点があるのに対し、ギギには黒色の斑点はありません。

ナマズ(福島県では国内外来種)



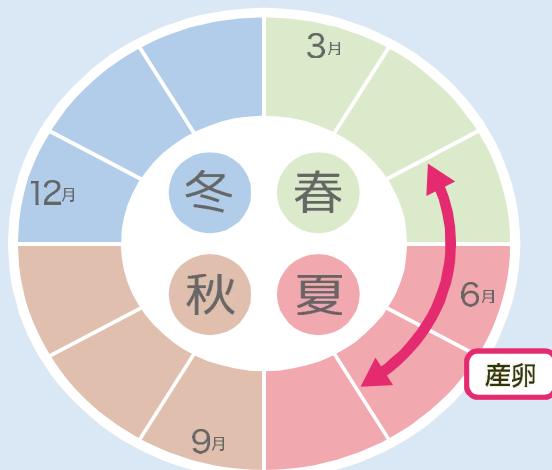
ナマズのからだは平たく、背びれと尾びれが小さいです。また、色は茶褐色や黒色で不規則な模様があります。

生態

河川の流れが緩やかで砂泥の環境を好みます。雑食性で、植物の他、水生昆虫、甲殻類、貝類、魚やカエル、小型のほ乳類を捕食します。

生活史

産卵期は5月～7月。オスが岩や木の陰、土手の下に作った凹みや穴などにメスが卵を産みます。産卵後はオスが卵を守ります。産卵数は推定4,000～35,000個と多いです。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

魚類

特定外来生物

主な被害

生態系 魚類、甲殻類、水生昆虫などを捕食することにより在来種が減少します。

産業 アユやコイなどの捕食により漁業に影響を与えます。

健康 ひれに鋭いトゲがあるため、漁業従事者や釣り人にケガを負わせる危険性があります。



☑ 防除方法

☐ 分布を拡げない!!

- 繁殖期には繁殖場所と推定されるエリアにおいて、大型個体を集中的に駆除することで分布拡大を防げるとされています。

☐ 個体の捕獲が基本!!

- 大型個体(全長40cm以上)を優先的に駆除して再生産を抑制します。
- 夜行性なので、混獲の少ない延縄を一晚設置すると効果的です。

☐ 相談して安全に実施!!

- 水深のある川などでの作業となるので、安全面に注意し、学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

食用として美味しいので日本へは養殖目的で導入されました。肉質はくせのない淡白な白身で、岐阜県では「河ふぐ」の名前でコース料理が出されています。茨城県ではハンバーガーやフィッシュ&チップスなどに料理されています。



ブルーギル

科 サンフィッシュ科

原産地 北アメリカ中東部の大西洋側

大きさ 全長25cm

名前はえらぶた後端の突出した部分が濃紺色であることに由来している

口は小さい

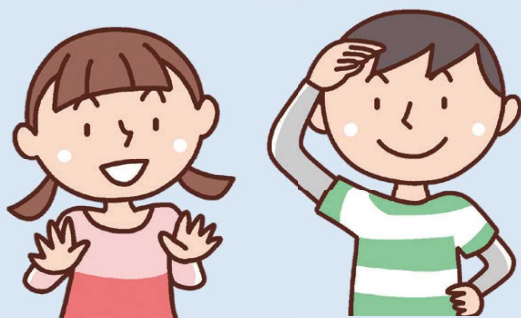
尾びれはごく浅く切れ込む



幼魚は体形がやや細く、体側には暗い色の横縞が7～10本ある。成長すると、体高が高くなり、体色は濃灰褐色から暗褐色に黒ずみ、横縞は不明瞭になってくる

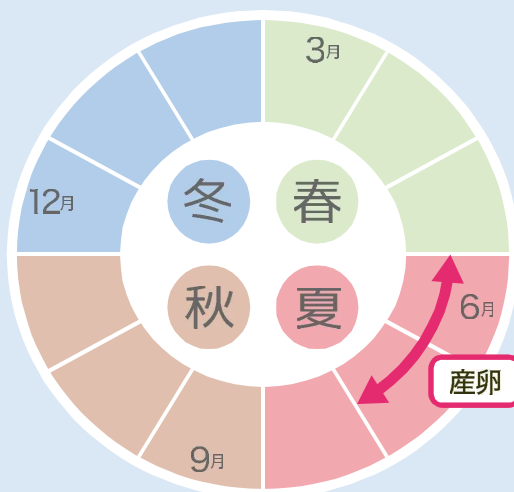
生態

湖沼やため池、堀、公園の池などに生息します。湖では主に沿岸の水生植物帯に、河川では流れの緩やかな水生植物帯に生息します。雑食性で、水生昆虫、エビ、水生植物などを好みます。



生活史

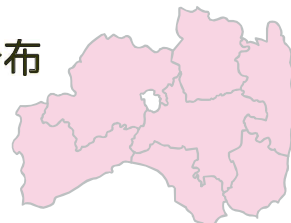
産卵期は6～7月。オスが砂泥底にすり鉢状の産卵床をつくり、メスを呼び入れて産卵させます。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

魚類

特定外来生物

主な被害

生態系 河川や湖沼で様々な水生生物を捕食します。特にため池のような小さな水域では、在来種が駆逐されてしまうおそれがあります。

産業 捕食による漁業への影響があります。
また、本種が多く生息する湖沼では、多数混獲されることにより操業に支障をきたすこともあります。



☑ 防除方法

☐ 分布を拡げない!!

- 釣ったりすくったりなどして捕獲した個体は、絶対にほかの水域に移動させてはいけません。

☐ 繁殖抑制と個体の捕獲が基本!!

- 餌で容易に釣れるので、釣りによる駆除は効果があります。
- 繁殖抑制は、自然の産卵床を探したり、ブロックなどを置いて人工的に産卵床をつくり、卵や仔稚魚を除去することが効果的です。
- 個体の捕獲としては、産卵前のメスや、産卵床にいるオスを捕まえて卵や仔稚魚を守れなくすることが効果的です。

☐ 相談して安全に実施!!

- 水深のある池や川での作業となるので、安全面に注意し、学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

ブルーギルの防除について、国立研究開発法人水産研究・教育機構では、ゲノム編集を用いた技術開発が進められています。ゲノム編集とは、特定の遺伝子をねらって切断し、変異を誘発する技術です。具体的には、卵をつくれないように遺伝子を変異させたオスを放流し、自然交配を繰り返すことで卵をつくれないメスが増えて、最終的には根絶するという世界的にも例がない試みです。

アメリカザリガニ

科 アメリカザリガニ科

原産地 北アメリカ

大きさ 約12cm



全体的に赤色

ハサミにはたくさんのトゲ

※小さい個体では、体が茶色でハサミのトゲが目立たないものもある

似た生物との見分け方

ウチダザリガニ(外来種)



色は茶色で、大きさは約15cmです。ハサミにトゲはなく、つけ根に白い模様があります。(→P.28)

ニホンザリガニ



色は茶色で、大きさは約7cmです。ハサミにトゲはありません。北海道、青森県、秋田県、岩手県にのみ生息する在来種です。

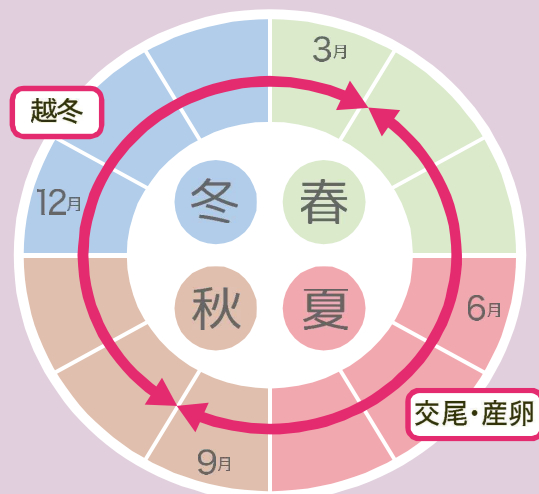
©環境省生物多様性センター
「いきものログRDB図鑑」

生態

湖や池、農業用水路、水田などさまざまな淡水域に生息します。雑食性で、落ち葉、藻、水草などの植物や、水生昆虫、オタマジャクシ、魚などの動物を食べます。

生活史

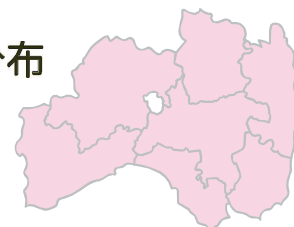
1度に200～1,000個の卵を産みます。卵を持つメスは1年中見られます。卵は春から秋の暖かい時期にふ化し、1～2年かけて成熟します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

甲殻類

特定外来生物

(2023年6月から)

主な被害

生態系

希少な動植物を食べます。

水草を切り刻んで減少させ、それによって水生昆虫のすみかが奪われるなど、生態系を大きく変えてしまいます。一度侵入すると、根絶することがとても難しいです。

産業

田んぼのあぜに巣穴を掘り、水もれさせます。



アメリカザリガニ侵入前



アメリカザリガニ侵入後

アメリカザリガニが侵入することによって水草は姿を消しました

☑ 防除方法

☐ 飼っているアメリカザリガニは逃がさない!!

- アメリカザリガニは1年以上生きます。安易に持ち帰ることはせず、最後まで飼育できるか、よく考えましょう。
- 野外にアメリカザリガニを逃がすことは法律(外来生物法)で禁止されています。最後まで責任をもって飼育しましょう。

☐ 釣りやあみでつかまえよう!!

- 釣りやたも網で捕獲し、数を減らしましょう。
- かごわなの設置や、ため池の水を抜いての捕獲すると、個体数を減らす上で効率的です。学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。ただし、在来種への影響を考え、慎重に実施する必要があります。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)

※ 特定外来生物ですが、アカミミガメとアメリカザリガニは一般家庭での飼育および無償での譲渡のみ認められています。

トピック

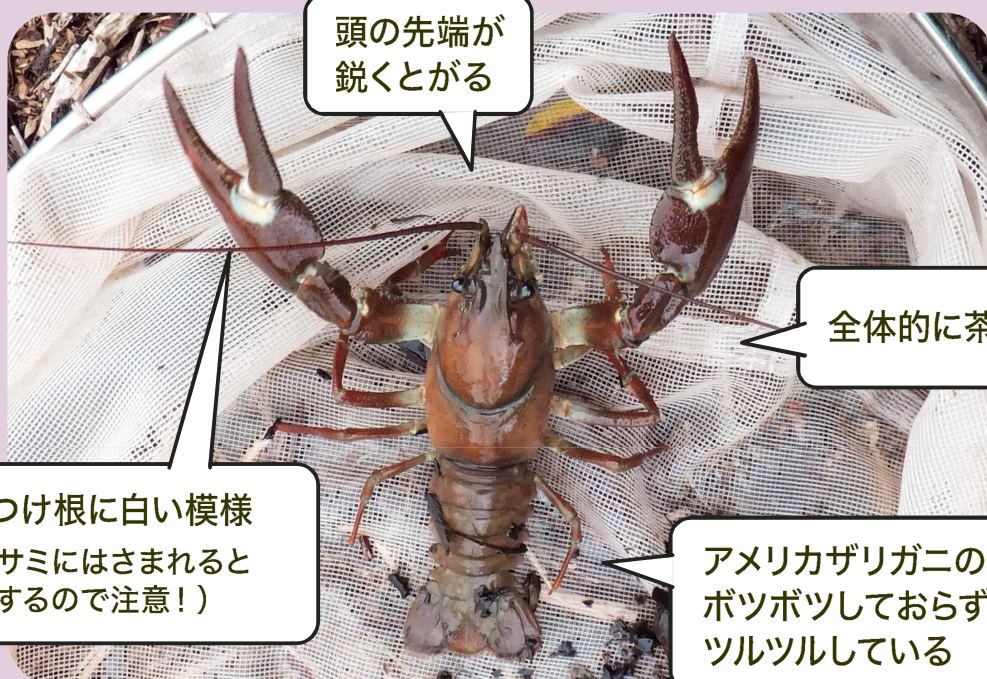
アメリカザリガニの天敵は、アカミミガメ、ウシガエル、オオクチバスなどの外来種です。これらの外来種を駆除することで、天敵がいなくなったアメリカザリガニが増えてしまうことがあります。外来種の駆除は、ほかの種とのつながりを考えて進める必要があります。

ウチダザリガニ

科 ザリガニ科

原産地 北アメリカ

大きさ 約15cm



似た生物との見分け方

アメリカザリガニ(外来種)



色は赤色で、大きさは約12cmです。ハサミの白い模様はなく、トゲがたくさんあります。(→P.26)

ニホンザリガニ



色は茶色で、大きさは約7cmです。ハサミにトゲはありません。北海道、青森県、秋田県、岩手県にのみ生息する在来種です。

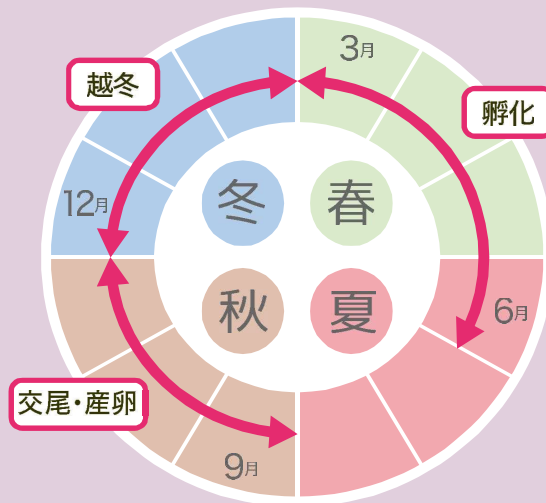
©環境省生物多様性センター
「いきものログRDB図鑑」

生態

川や湖などに生息します。水温は0℃から30℃程度まで耐えられます。雑食性で、落ち葉、水草、水生無脊椎動物、魚類などを食べます。

生活史

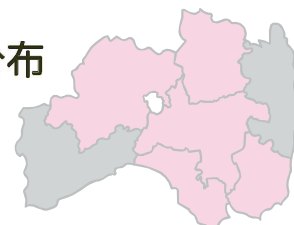
秋に交尾・産卵し、メスは卵を抱えて越冬します。卵は春から夏にかけてふ化し、約3年で成熟します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

甲殻類

特定外来生物

主な被害

生態系

在来種の生息場所や餌をうばいます。
在来ザリガニ類に病気をうつします。
水草を切る、水生昆虫や魚などを食べる、泥をかき混ぜるなどして、水域の生態系を変えてしまいます。

産業

田んぼのあぜに巣穴を掘り、水もれさせます。



☑ 防除方法

☐ 見つけたら連絡しよう!!

- 田んぼや用水路で見つかることもあります。ウチダザリガニの特徴に当てはまるザリガニがいたら、すぐに市町村や県に連絡しましょう。拡がる前に駆除することが何よりも重要です。



たも網で捕獲

☐ あみやワナでつかまえよう!!

- 釣りやたも網で捕獲し、数を減らしましょう。
- かごわなの設置や、ため池の水を抜いての捕獲も、個体数を減らす上で効率的です。学校や地域の活動として大人と一緒にいきましょう。ただし、在来種への影響を考え、慎重に実施する必要があります。
- 漁具を使うには手続きが必要な場合があります。連絡先の窓口にご相談しましょう。(→P.57)



かごわなで捕獲

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

北塩原村の裏磐梯周辺は福島県で最初にウチダザリガニの侵入が確認された地域です。また、西郷村の堀川ダム周辺でも2015年にウチダザリガニの大量発生が確認されました。それぞれの地域で自治体や地域の団体、大学などが協力し、駆除活動が行われています。実は、ウチダザリガニは臭みがなく美味しいといわれています。NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会や、西郷村の堀川ダムでは、駆除したウチダザリガニを食材として利用する取り組みを行っています。



クビアカツヤカミキリ

科 カミキリムシ科

原産地 中国、朝鮮半島、ベトナムなど

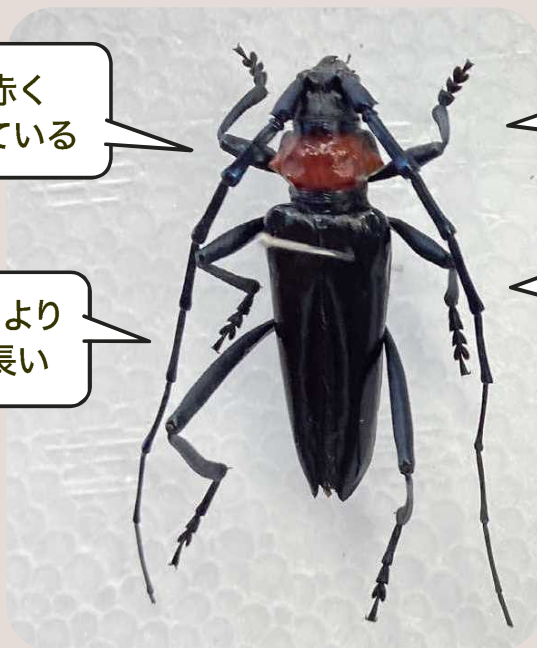
大きさ 体長22～38mm
(触角を含まない)

首(胸部)が赤く
突起がついている

触角は、メスより
オスの方が長い

成虫はジャコウのような
においを放つ
(別名クロジャコウカミキリ)

からだ全体が黒く
光沢(つや)がある



生態

幼虫はバラ科の樹木(サクラ、ウメ、モモ)などを食し、特にモモを好みます。
幹がでこぼこした木を好んで産卵します。

生活史

幼虫期間は1～3年といわれます。
幼虫は4～10月頃に樹木の内部を食し、大量のフラス(糞や木くず)を排出します。

成虫の発生時期は6～8月です。
メス成虫は生涯に1匹あたり300個以上の卵を産むことができます。
成虫は約2km飛翔し、自動車などに運ばれ長距離を移動することもあります。

似た生物との見分け方

幼虫のフラスを他の昆虫(コスカシバ等)と間違えないよう注意。

クビアカツヤカミキリ

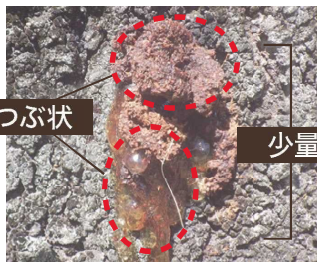


うどん状で大量に排出。フラスは樹幹の下部や根に多い。

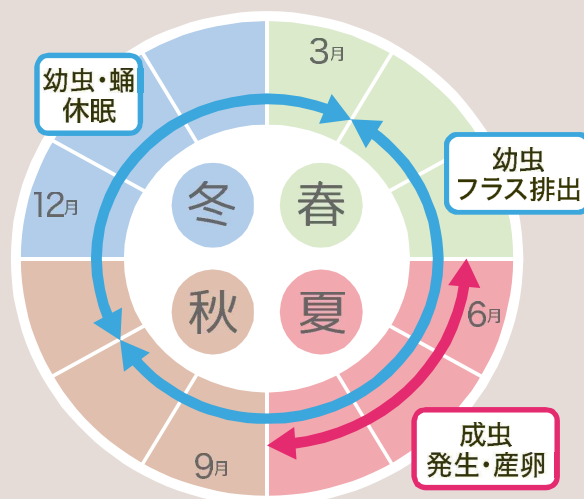
コスカシバ



成虫



幼虫のフラス



● 生息場所



● 分布



県内確認なし
隣接県では群馬県・栃木県・茨城県に分布

● 分類

昆虫類

特定外来生物

主な被害

生態系 樹木枯死の原因になります。

産業 モモ・ウメなどの木を食害し、農作物被害を与えます。

生活 サクラの木を食害し、景観や文化財の損失をもたらします。
落枝や倒木による人身被害の原因となります。



☑ 防除方法

☐ 幼虫のフラスや成虫を見つけよう!!

サクラやモモ等の幹や根からフラスが出ていたり、夏季に成虫を見つけたら、すぐに市町村や県に連絡しましょう。

☐ ネットを巻いて見回りをしよう!!

- 産卵や侵入を予防するため、樹木にネット(4mmメッシュ程度)を巻き、定期的に見回りをしましょう。
- 幹とネットの間にすきまを開けて巻くことでネットがかみ切られるのを防ぎます。



サクラへの侵入予防ネットの設置

※特定外来生物のため、飼育や生きたままの移動等が禁止されています。

トピック

2022年現在、福島県内でクビアカツヤカミキリの侵入は報告されていませんが、隣接している群馬県・栃木県・茨城県において生息が確認されています。福島県内では、他の外来カミキリムシの侵入がすでに確認されており(P32,P33参照)、クビアカツヤカミキリも今後同様に侵入する可能性が懸念されています。本種が侵入すればサクラの名所や特産品のモモに対して大きな被害が及ぶことが予想されます。飛翔能力の高い外来種の侵入を阻止することは難しいですが、侵入・定着を防ぐため、みなさんが意識をもって早期発見の取り組みを行うことが重要です。

サビイロクワカミキリ

科 カミキリムシ科

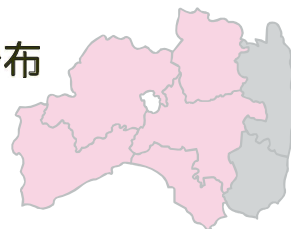
原産地 インド、ミャンマー、カンボジア、
タイ、ベトナム、ラオス、中国、韓国

大きさ 体長約29～37mm
(触角を含まない)

● 生息場所



● 分布



：分布地域

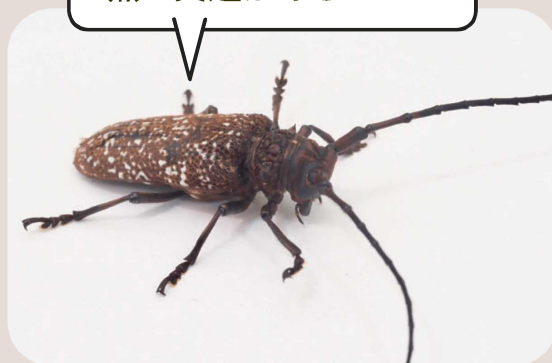
● 分類

昆虫類

サビ色の体に白い斑点があるのが特徴



前ばねの根元に粒状の黒い突起がある



生態

幼虫はイヌエンジュ、エンジュなどを食します。主に夜間に交尾や産卵を行います。

主な被害

産業 造林地のイヌエンジュを食害し、用材としての価値を損ねます。

生活 屋敷林や街路樹に用いられているイヌエンジュを食害し、景観を損ねます。
落枝や倒木による人身被害の原因となります。

似た生物との見分け方

在来種のクワカミキリは主にニセアカシア(ハリエンジュ)を食害しますが、サビイロクワカミキリは主にイヌエンジュを食害します。

サビイロクワカミキリの場合は、下記の3点で区別できます。

- ① 枝先ではなく樹幹に産卵します。
- ② 成虫が産卵痕をマウンド状に塗り固めます(産卵マウンド)。
- ③ フラスが粉末状ではなく繊維状です。



サビイロクワカミキリのマウンド状産卵痕



サビイロクワカミキリの産卵

ツヤハダゴマダラカミキリ

科 カミキリムシ科

原産地 中国・朝鮮半島

大きさ 体長 オス 20~29mm
メス 22~35mm
(触角を含まない)

● 生息場所



● 分類

昆虫類

● 分布



：分布地域

触角は12節、
3~12節には
明瞭な白色の
帯がある

黒色で光沢があり、
前ばねに約20個の
白いまだら模様がある

オスの触角は体長の2.5倍、
メスでは1.3倍の長さがある

生態

幼虫はニレ、ヤナギ、トチノキ、カツラ等様々な種類の樹木を食します(福島県内では、トチノキ、カツラを中心とした樹木の食害が顕著)。

主な被害

産業

北米やヨーロッパ、中国では、ポプラに対して大規模、多額の被害が発生しています。
様々な樹木を食するため、農林業へ被害が広がるおそれがあります。

生活

街路樹、公園等の樹木を食害し、枯死させます。
落枝や倒木による人身被害の原因となります。

似た生物との見分け方

在来種ゴマダラカミキリに酷似しますが、胸部に白紋をもたない点で区別できます。また、前ばねの根元の形や模様なども異なります。



ツヤハダゴマダラカミキリ



ゴマダラカミキリ

☑ 防除方法

☐ 外来カミキリムシ類を見かけたら連絡しよう!!

自分の身の周りでサビイロクワカミキリやツヤハダゴマダラカミキリを見かけたら、すぐに市町村や県に連絡しましょう。早期対応がもっとも重要です。

ヒアリ アカカミアリ

科 アリ科

原産地 ヒアリ:南アメリカ
アカカミアリ:北アメリカ南部～中アメリカ

大きさ 2.5mm～6mm程度

ヒアリは黒褐色や
暗赤褐色、
アカカミアリは
黄褐色の体色の
個体が多い

光沢があり、
ツヤツヤしている

毒針をもち、刺されると
皮膚疾患やアレルギー
反応の原因となる

様々な大きさの
働きアリが見られる
(連続多型)

ヒアリとアカカミアリの判別は困難

写真:ヒアリ©環境省

生態

日本国内では港湾のコンテナヤード周辺
で確認されています。

アメリカや台湾では、空地や公園緑地等
に生息しています。



©環境省

ヒアリ営巣状況

主な被害

生態系

鳥類やほ乳類を含む在来種の動物の
多くを駆逐し、植物にも被害を与えます。

産業

果実や根菜を食害します。
農業害虫であるアブラムシやカイガラムシ
と共生し被害を拡大します。
人や家畜・家禽への刺咬、ストレスを与え、
農耕地や施設の使用を困難にします。

※アメリカでは、毎年50～60億ドルの
経済被害が報告されています。

生活

家屋、公園、学校などの使用が困難となります。
電化製品や信号機などに侵入し、故障の原因
となります。
お花見などの催しが困難となります。

健康

アメリカでは年間1,400万人が刺され、
8万人が病院で治療を受けています。

※毎年数十人がアナフィラキシーショックで
死亡しています。

● 生息場所



● 分布



県内確認なし

● 分類

昆虫類

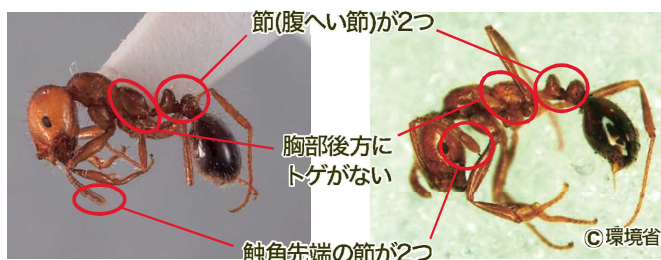
特定外来生物

(要緊急対処特定外来生物)

似た生物との見分け方

ヒアリ

アカカミアリ



キイロシリアゲアリ

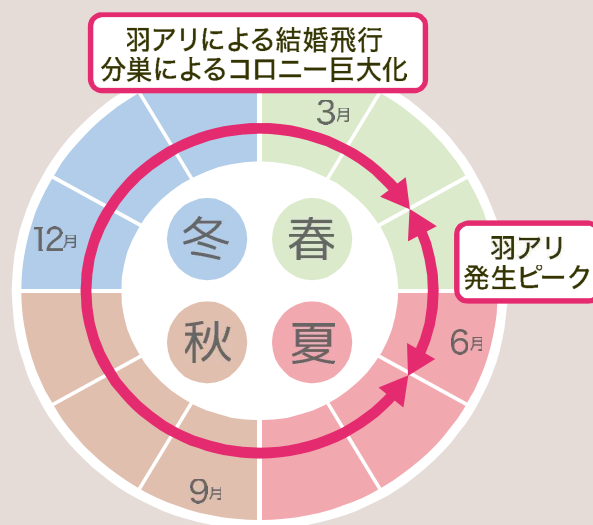


アミメアリ



生活史

1匹の女王アリが1日1,500個以上の卵を産みます。営巣から2年で20,000個体以上に増殖します。成熟コロニーでは、100万個体以上の働きアリが生息することもあります。また、羽アリによる結婚飛行や分巢によって規模を拡大します。羽アリは1.6～5.4km飛翔し、風に乗ると30kmまで分散します。



トピック

【海外での取組事例】

中国広東省では年間20億円を投じてますが、有効な駆除に苦慮しています。一方、ニュージーランドでは、早期発見と初期対応を徹底し、世界で唯一根絶に成功しました。これらのことから初期対応への重要性がわかります。

【毒性】

- 刺されたら症状の強弱に関わらず、直ちに病院での治療を受ける必要があります。
- アナフィラキシーショックにより重篤な症状が起こる場合もあり、海外では死亡例もあります。

アレチウリ

科 キク科

原産地 北アメリカ

大きさ 長さ数m～十数m

つる植物で河川敷などの
明るく開けた場所で地面や
他の植物の上を這い広がり、
大群落を作ります



果実は、ウリといっても小さく
目立たず、刺が密生しています

似た生物との見分け方

クズ

クズの葉



アレチウリの葉



クズの花



アレチウリの花



・つる性で河川敷に繁茂する様子はクズによく似ています。クズは大豆の葉に似た3枚1組の葉、アレチウリはキュウリによく似た1枚の五角形に見える葉です。アレチウリには巻きひげがありますがクズにはありません。

・クズは紫色の房状の花ですが、アレチウリは黄白色の小さい花です。

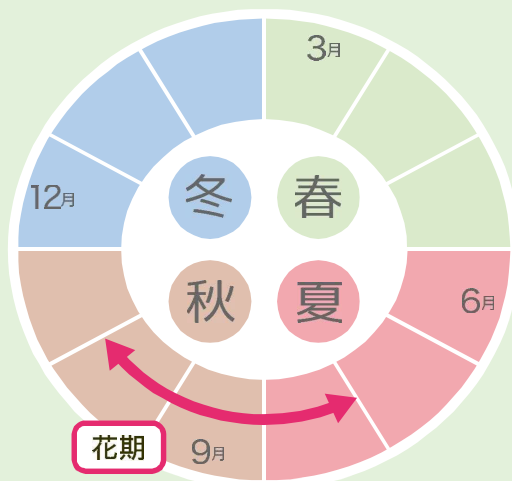
生態

河川敷といった開けた明るい場所のやや湿った場所を好みます。つる植物でつるを伸ばして拡がります。

生活史

一年生のつる植物です。

春から秋にかけて、種子から発芽し、夏(8～10月)に開花、秋(9～11月)に結実して、12月に枯れます。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

特定外来生物

主な被害

生態系 河原に生育するヨシやシロヤナギなど、あらゆる草木を覆い被圧します。

産業 畜産飼料畑や大豆畑などで繁茂します。

生活 河川敷や道路沿いに大群落をつくり、景観などに影響を与えます。



アレチウリの大群落
他の植物を覆ってしまいます

防除方法

□ 実をつける前に抜き取ろう!!

- 夏に花が咲き始めたら抜き時です。つるをたどって、根元を探して抜きましょう。どんなに茎が太くても、根は細く簡単に抜けます。
- 根元が見つからなくても、なるべく根元で茎を刈れば、そこから上は全部枯れます。
- 抜いた後は、種子が落ちないように袋に密閉して、その場で枯らした後に燃えるごみとして捨てましょう。
- 果実にするどい刺がたくさんあります。刺さりやすいので、皮手袋やナイロン製の服を着用しましょう。



芽生え/双葉はかぼちゃに似ています



果実/白い刺がたくさんあります

※特定外来生物のため、栽培や種子の所持が禁止されています。

トピック

- 長野県の千曲川の事例では、6月中旬、7月下旬～8月上旬、9月上旬の3回駆除すると効果的でした。
- 秋を過ぎてから発芽した個体は小さくても少数の種子をつけることがあります。



園芸スイレン

科 スイレン科

原産地 ヨーロッパなど

大きさ 葉の大きさは、
直径10~30cm

観賞植物として品種改良
されたため、花は八重咲の
ものや花色が白やピンク、
赤など華美なものが多い

ため池全体を
大きな葉で
覆ってしまう



似た生物との見分け方

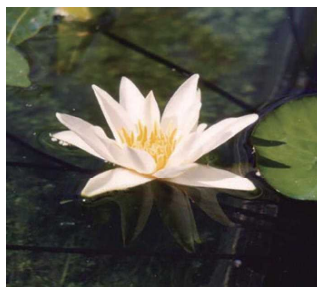
ヒツジグサ

園芸スイレン



花は華美なものが多く
葉は密にあり、大きく厚みがある

ヒツジグサ



園芸スイレンに比べると
葉は密になく、薄い

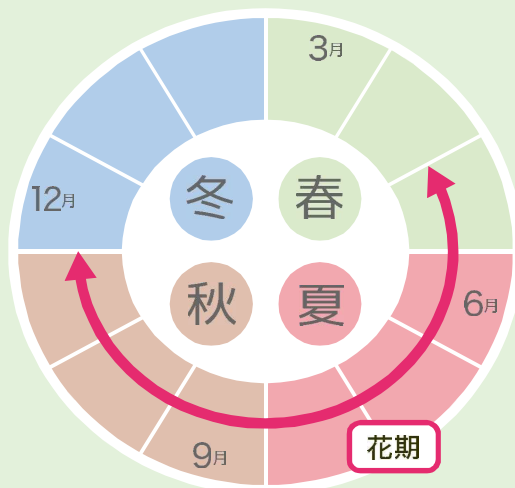
- ・在来スイレンのヒツジグサの根茎は塊状で横に広がることはありませんが、園芸スイレンの多くは枝分かれしながら横に伸びる地下茎を持ちます。
- ・ヒツジグサと違い、根茎は水底を分枝しながら匍匐し、広がります。このため池全体を覆ってしまいうこともあります。
- ・ほとんどの品種がヒツジグサに比べて大きく厚みのある葉で、花も華美なものが多いです。

生態

明るい湖沼やため池に生育します。根茎を大きく伸ばし拡がります。

生活史

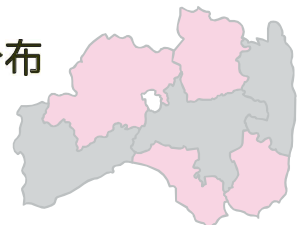
多年生の浮葉植物です。4月に葉を広げ、5月から11月にかけて花を咲かせ、実を作ります。11月には水に浮いた葉が枯れますが、池底で根茎や翌年の葉が越冬します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

主な被害

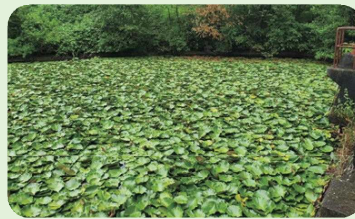
生態系

ため池や水路の水面一面を覆うほどに大繁茂し、ヒツジグサなどの在来水生植物がいなくなります。

冬に枯れた池底にたまり、富栄養化を進めます。水中の酸素が少なくなるため、メダカなどの水生動物にも影響が出ることがあります。

生活

ため池を一面覆ってしまうので景観などに影響を与えます。



ため池の水面を覆ってしまい、他の水生生物がいなくなります



ヒツジグサなどの在来水生植物がいなくなります



防除方法

□ きれいな花だけれど外来種です!!

- きれいな花が咲くので、水辺でよく植えられます。野外には植えないようにしましょう。
- 家で楽しむ場合は、自宅の庭の池や水鉢に植えるなど、野外に拡がらないところに限りましょう。

□ 自然公園で見つけたら連絡しよう!!

- 自然公園などで新たに植えられているのを見つけたら、管理者や県に連絡をしましょう。
- 駆除は水に入るため胴長など特別な装備や技能が必要です。一般の人は無理に駆除をしないようにしましょう。



矢ノ原湿原での駆除作業

トピック

- 海外に自生するスイレン属植物ならびにそれらを原種として交配等によって作り出された栽培品種を総称して「園芸スイレン」としています。なお、ヒツジグサは「スイレン」と呼ぶこともあります。
- 矢ノ原湿原では、福島大学や村民らの参加による手で根茎を引き抜く駆除作業により、5年で目視で確認できるすべての園芸スイレンを駆除できました。
- 現在のところ、他のため池といった別の場所に二次的に拡散した事例は少ないようです。

オオキンケイギク

科 キク科

原産地 北アメリカ

大きさ 高さ30~70cm



花びらの先は
ギザギザに
4~5つに分かれる

直径5~7cmの
黄色い美しい花

葉は茎の下の方に集まる



葉の周りは滑らかで
横幅が一番大きい
部分で1cm程度

葉は細長いへら状で
両面に荒い毛が生える

似た生物との見分け方

キバナコスモス (外来種)



©環境省北九州地方環境事務所



©環境省北九州地方環境事務所

花は8~11月に咲き、花びらの先はあまりギザギザしません。葉は短くよく切れ込みます。

ハルシャギク (外来種)



花の中心が茶色です。
また、オオキンケイギクに
比べて、葉が細いです。

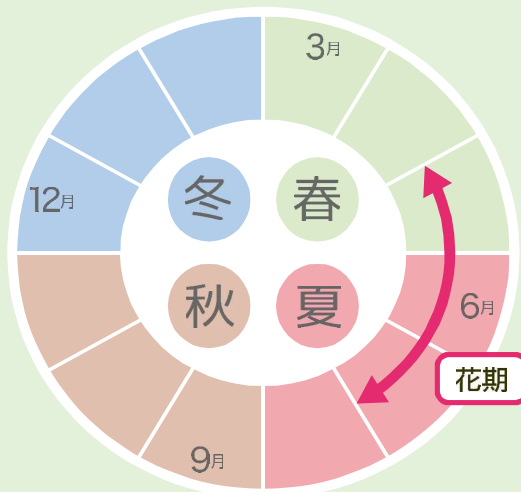
他にも、ホソバハルシャギクなど、似た花を咲かす植物がいくつかありますが、そのほとんどが外来の園芸植物です。

生態

道ばた、空き地などの明るい場所を好みます。繁殖力が旺盛で、時に大群落になります。一度生い茂ると除去が困難です。

生活史

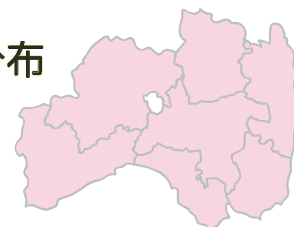
多年生の草本で2年以上生き続ける植物です。花は5~7月に咲き、6~9月に結実します。冬季は越冬のため、葉を地面に放射状に広げるロゼットという状態で過ごします。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

特定外来生物

主な被害

生態系 河原や草地に生育するカワラナデシコなどの在来の植物と競合します。なお、福島県では河原での繁茂が見られていないため、現在のところ、これらの植物への大きな影響は生じていません。

生活 道ばた、空き地などに大群落をつくり、景観などに影響を与えます。



土手における大群落

☑ 防除方法

❑ きれいな花だけど外来種です!!

- きれいな花が咲くので、草刈りで刈り残され、繁茂につながっています。残さず防除しましょう。

❑ 掘り取りでやっつけよう!!

- 根からの掘り取りが一番効率的です。花の咲く時期が見分けやすく、作業を行いやすいです。根はあまり丈夫ではなく、比較的掘り取りやすい植物です。
- 刈り取りをすると、かえって繁茂する傾向があるため、なるべく掘り取りを行いましょう。
- 抜いた後は、種子が落ちないように袋に密閉して、その場で枯らした後に燃えるゴミとして捨てましょう。



冬のロゼットのようす
葉のみでは存在を認識しづらいです

※特定外来生物のため、栽培や種子の所持が禁止されています。

トピック

特定外来生物に指定されている植物の防除について、地域住民やボランティア団体による小規模な防除では、事前にHPや地域の回覧板などで公表するなど、いくつかの条件を満たすことで、除去した植物を生きたまま処分場へ運ぶことができます。詳しくは県や市町村に相談しましょう。



オオハンゴンソウ

科 キク科

原産地 北アメリカ

大きさ 高さ1m～3m

直径6～10cmの
黄色い美しい花



茎は無毛

花の中央は黄緑色で
半球状に盛り上がる



葉はヨモギに似た形



似た生物との見分け方

アラゲハンゴンソウ(外来種)



花の中央(筒状花)が紫黒色です。また葉が裂けず、茎には剛毛が生えざらざらします。

キクイモ(外来種)



葉が裂けず、茎には剛毛が生えざらざらします。

他にも、キクイモモドキなど、似た花を咲かす植物がいくつかありますが、そのほとんどが外来の園芸植物です。

生態

河川敷、道ばた、荒れ地、湿地に生育します。寒さや湿気に強く他の植物を押しつけて繁茂します。一度生い茂ると除去が困難です。

生活史

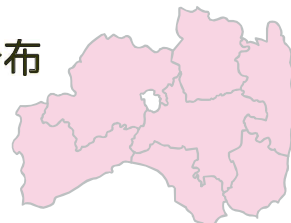
多年生の草本で2年以上生き続ける植物です。花は7～10月に咲き、9～11月に結実します。地上部生育期間は4～11月で、冬季は地下茎で休眠します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

特定外来生物

主な被害

生態系 林縁や草地、川沿い、湿地などで繁茂し、在来の植物を駆逐します。

生活 観光地や史跡などの景観を変えてしまいます。

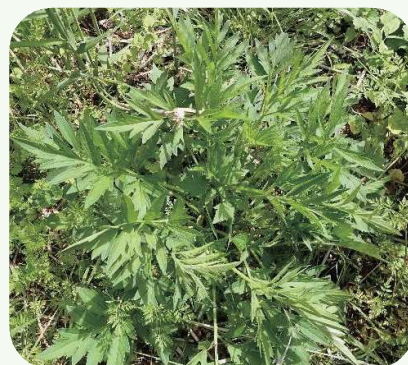


湿地に入り込んだようす

☑ 防除方法

☐ 掘り取りでやっつけよう!!

- 根からの掘り取りが一番効率的です。花の咲く時期が見分けやすく、作業を行いやすいですが、地上部が大きく、根茎も丈夫なので手間がかかります。見慣れてきたら、大きくなる前の5～6月頃に作業を行ってみましょう。
- 夏に一度刈り取り、1か月後ぐらいに芽が出たところを掘り取ると、掘り取りや運搬の手間が減ります。
- 刈り取りをすると、かえって繁茂する傾向があるため、刈り取りのみの防除は極力避けましょう。
- 抜いた後は、種子が落ちないように袋に密閉して、その場で枯らした後に燃えるゴミとして捨てましょう。



花がつく前のようす

※特定外来生物のため、栽培や種子の所持が禁止されています。

トピック

- 裏磐梯では環境省が主体となり、2007年から防除が行われています。毎年相当数が抜かれてますが、中々減らないのが現状です。
- 花がきれいで目を引きますが、庭には絶対に植えないようにしましょう。
- 1株で1,600個の種子ができると言われています。種子の一部は土壌中に残り、掘り取りなどで土がかき混ぜられると一斉に芽吹きます。

オランダガラシ

科 アブラナ科

原産地 ヨーロッパ

大きさ 高さ20～70cm



繁殖は種子からの実生と根茎による栄養繁殖のどちらも行います

耐寒性が強く、水温10～20℃の低い水温でよく繁茂します

似た生物との見分け方

セリ



・同じ水辺に生えるセリの葉は、オランダガラシに比べ、先がとがっており、やや明るめで、全体的に柔らかい感じがし、さわやかな香りがします。

・どちらも同じように白い小さな花を咲かせますが花びらの数はオランダガラシは4枚、セリはさらに小さな花をたくさんつけ5枚です。



オランダガラシの花

生態

日当たりのよい水田や河川の岸辺、水路といった水辺に多く見られます。

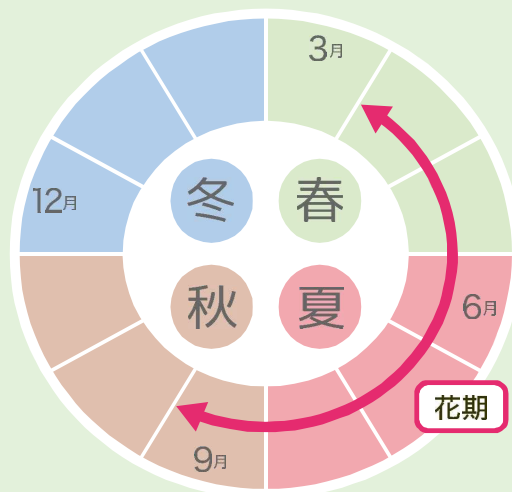
茎から根を出し増えて大群落をつくります。

生活史

多年生の抽水～沈水植物です。

4月～9月に茎の先端に白い十字状の小さな花を咲かせます。

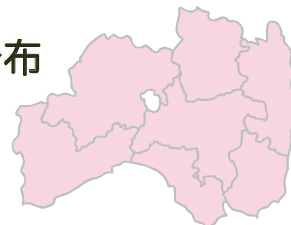
冬季も枯れずに残ります。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

主な被害

生態系

繁殖力が強く大群落を作り、他の水辺に生育する在来の植物を被圧します。

産業

世界的に温帯地域の水路の雑草として問題になっています。



水辺に大群落をつくります

☑ 防除方法

☐ おいしいけれど外来種です！！

- おいしいので栽培されますが、全国の湧水や溪流に侵入して大繁茂しています。
- 溪流や水路などの野外では栽培しないようにしましょう。
- 家で栽培する時にはプランターに入れて育てるなど、外に拡がらないようにしましょう。

☐ 似ている植物があるので気をつけよう！！

- 小さい時はしばしば在来種と間違えられます。大きく育って区別がつくようになったら駆除しましょう。

☐ 根っこを残さず抜き取ろう！！

- 根の一部があるとそこからすぐに大きくなります。根から抜き取りましょう。
- 抜いた後は袋に密閉して、燃えるごみとして捨てましょう。

トピック

クレソンと一般的に呼ばれており、スーパーなどで野菜として売られています。サラダやステーキ、ハンバーグの添え物としてよく食べられています。



キショウブ

科 アヤメ科

原産地 ヨーロッパから西アジア

大きさ 高さ50～120cm

日当たりのよい
水場に生えます

花は鮮やかな黄色

地下茎は太く、
分枝して横に這います



似た生物との見分け方

ノハナショウブ



- ・花は赤みがかった紫色
- ・花びらに黄色い筋がある

カキツバタ



- ・花は青みがかった紫色
- ・花びらに白い筋がある

- ・他のアヤメの仲間の在来種は、すべて紫色系の花をつけます。
- ・キショウブの葉はやや粉白色を帯びるのに対し、ショウブの葉は明るい緑色で光沢があります。

生 態

ため池の岸や河川敷の湿地、水路等に多く見られます。地下茎で栄養繁殖するだけでなく、種子が水に浮いて拡がるため繁殖力が強く大群落を作ります。

生活史

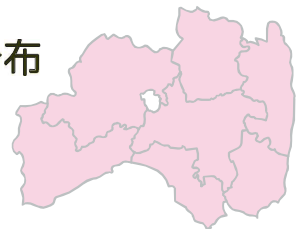
多年生の抽水植物です。
花は5月～6月、7月～8月に実ができます。地上部の生育期間は3月～11月です。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

主な被害

生態系 繁殖力が強く水辺で大群落を作り、カキツバタなどの在来植物を駆逐します。

生活 観光地や史跡などの景観を変えてしまいます。



水辺に大群落をつくります

☑ 防除方法

❑ きれいな花だけれど外来種です!!

- きれいな花が咲くので、水辺でよく植えられます。野外に植えないようにしましょう。
- 草刈りで刈り残され、繁茂につながっています。刈り残さないようにしましょう。

❑ 似ている植物があるので気をつけよう!!

- 在来種と一緒に生えていることが多いので、花がない時は区別が難しくやっかいです。
- 黄色い花で区別がつくようになったら掘り取りや刈り取りで駆除しましょう。



根から掘りとります

❑ 掘り取ろう!! 刈り取りで小さくしよう!!

- 根から掘り取りを行うのが一番効果的です。黄色の花を頼りに掘り取りましょう。
- 根茎がショウガのように大きく、地上部も大きいので掘り取りや運搬には手間がかかります。
- 刈り取りをしても後から芽が出て再び茂りますが株は小さくなります。刈り取りを繰り返し、株を小さくしてから掘り取るなど、組合せを工夫しましょう。
- 掘り取った後は袋に密閉して、燃えるごみとして捨てましょう。

トピック

- 栽培すれば水辺以外でも育ちますが、野生化したキショウブは水がある環境に多く見られます。
- 5月の端午の節句で菖蒲湯に使われるショウブはショウブ科の別の植物です。
- アヤメの仲間でも古くから里地に植えられてきたために、しばしば在来種と誤解されます。

コウリンタンポポ

科 キク科

原産地 ヨーロッパ

大きさ 高さ10cm～50cm

直径2.5cmの10個ほどの
オレンジ色の美しい花

茎や花の付け根の
部分(総苞)に黒い毛

茎が地上近くをはって
伸びマット状になる

綿毛のある
種子をつくる

葉はロゼット状



ロゼット葉のようす

似た生物との見分け方

キバナコウリンタンポポ(外来種)



花が黄色く、茎や花の付け根の部分
(総苞)の毛が白いです。

生態

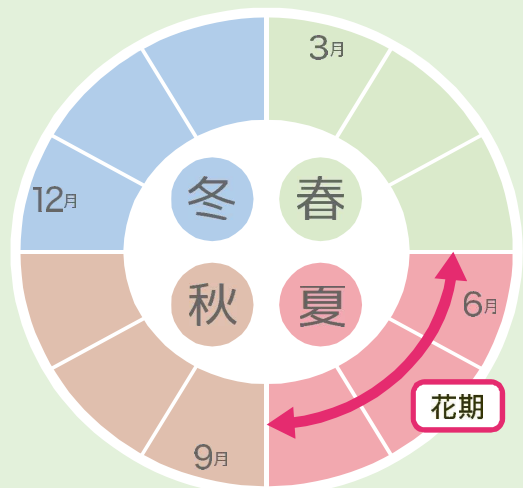
道ばた、空き地などの明るく、栄養の少ない環境を好みます。

繁殖力が旺盛で、綿毛のある種子により急速に広がります。

生活史

多年生の草本で、2年以上生き続ける植物です。

花は6～8月に咲きます。冬季は越冬のため、葉を地面に放射状に広げるロゼットという状態で過ごします。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

主な被害

生態系 バンダイクワガタなどの高山草原に生育する在来の植物のすみかを奪います。



磐梯山での繁茂のようす

☑ 防除方法

☐ きれいな花だけど外来種です!!

- きれいな花の高山植物と間違えられますが、高山植物を脅かしている外来種です。
- 山では株を運んだり、種子をまいたりしないようにしましょう。
- 山登りの際に種子を運ばないよう、気を付けましょう。

☐ 防除ボランティアに参加しよう!!

- 磐梯山などで防除が行われています。山登りが好きな方は参加してみましょう。



コウリントンポポの防除のようす

☐ なるべく植えないようにしましょう!!

- 平地ではあまり侵略性はありませんが、平地でもなるべく植えないようにしましょう。

トピック

- 花の形から別名エフデギクと呼ばれます。
- アメリカに導入された際は、その美しさから「ビーナスの絵筆」ともてはやされましたが、あまりにも繁殖力が強かったことから雑草化後は「悪魔の絵筆」として嫌われるようになりました。
- 裏磐梯では2018年より裏磐梯エコツーリズム協会主催の防除が行われています。

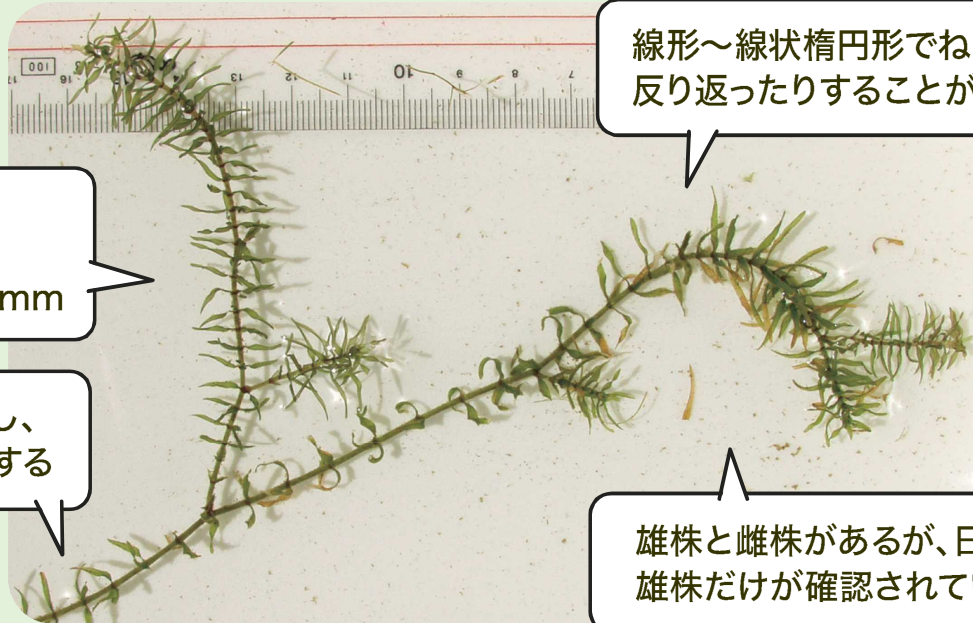


コカナダモ

科 トチカガミ科

原産地 北アメリカ

大きさ 長さ1m以上



葉の長さは
10～15mm、
幅は1.2～2.0mm

茎はよく分岐し、
葉は3つ輪生する

線形～線状楕円形でねじれたり
反り返ったりすることが多い

雄株と雌株があるが、日本では
雄株だけが確認されている

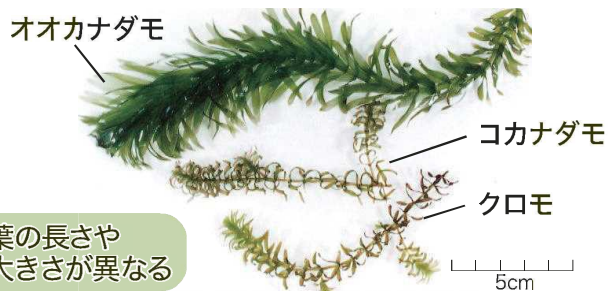
似た生物との見分け方

オオカナダモ (外来種)

葉は4つ輪生。葉の長さは20～30mm、幅は3～6mm。葉のよじれは少なく折れにくいです。

クロモ

葉は4～7つ輪生。葉の長さは10～20mm、幅は1.5～2.5mm。葉は反り返り、硬質で折れやすいです。



葉の長さや
大きさが異なる

オオカナダモ

通常4枚の葉が輪生

コカナダモ

通常3枚の葉が輪生

クロモ

通常4～7枚の葉が輪生

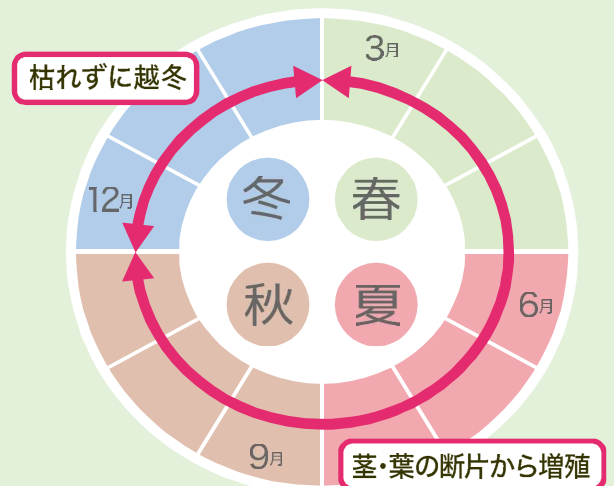


生態

日当たりのよい流水～停滞水域、浅水を好んで生育します。
汚れた水域から湧水のあるきれいな水域まで生育します。

生活史

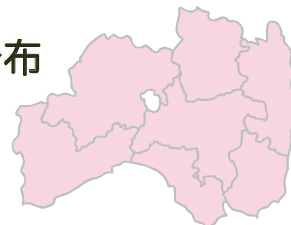
種子を作らず、茎葉などの断片から盛んに繁殖します。
耐寒性があり、在来種が枯衰する0℃以下の冬季もそのまま越冬し、在来種の生長前に繁殖可能です。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

主な被害

生態系 池沼や溪流に生育する在来植物と競合し、圧倒します。

生活 湖沼や池で大繁茂して観光地や史跡の景観を変えてしまいます。
ボートが漕げなくなることもあります。



コカナダモの被害

☑ 防除方法

☐ 協力して抜き取りをしよう!!

- 地域の方々と協力して、効率的に除去作業を行いましょう。20人以上で作業すれば合計1トン近い量を除去することができます。

☐ 根っこまで残さず抜き取ろう!!

- 周囲に葉や茎、根が流れていかないように残さず抜き取りましょう。
- 水草の刈り取機・除去機を使用する場合は断片が残りやすいため、人力による除去で補いましょう。



コカナダモ駆除の様子

トピック

コカナダモは現在、福島県内の広い範囲にわたって生育が確認されています。

- 裏磐梯の曲沢沼では、景観の回復を目的にNPO法人を中心としてコカナダモの防除作業を実施しています。2020年実施時には、19名の参加者のもとで1日1トン以上(1,380kg)のコカナダモを防除しました。
- 外来魚であるソウギョの放流や水質汚濁などにより水草が一度姿を消した湖沼で、コカナダモのみが繁茂する事例が相次いでいます。

外来種を防除・根絶するためには、みなさんが連携して取り組みを行うことが重要です。

ナルトサワギク

科 キク科

原産地 東アフリカ(マダガスカル)

大きさ 高さ20～50cm

タンポポのような
綿毛のついた種子を作り、
風によって散布させます



地際で横に倒れ、多数の
枝分かれをして
大きな株を作り成長します

似た生物との見分け方

ツワブキ



ツワブキ



ナルトサワギク

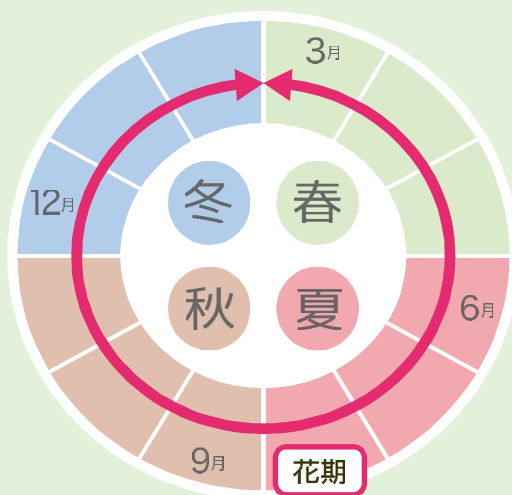
- ・ツワブキも海岸沿い等に群生しますが、葉はフキのように丸く濃い緑色でつやがあります。
- ・ツワブキの花も黄色いですが、一つ一つの頭花は4～6cmとナルトサワギクの2cm程度に比べると大きいです。
- ・ナルトサワギクは一年中花を咲かせますが、ツワブキは冬にのみ花を咲かせます。

生 態

市街地の道路法面、河川敷、牧草地、埋め立て地、海岸沿いなど日当たりのよい場所に生育しています。枝分かれや種子によって増えます。

生活史

多年生の草本植物で、1年を通して黄色の花を咲かせ、結実します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

特定外来生物

主な被害

生態系

繁殖力が強く大群落を作り、他の植物を被圧し、植生を単一化させます。

産業

葉にアルカロイドを含み草食動物にとって有毒であり、飼料に混入した場合は、中毒症状を起こす恐れがあります。



ナルトサワギクの群落



タンポポの綿毛のような種子で風で拡がります



☑ 防除方法

☐ 抜き取ろう！刈り取ろう！！

- 根元から抜き取りましょう。手でも比較的簡単に抜き取れます。
- 刈り払いも効果があります。刈り払い機を使う場合は地際から刈り取りましょう。



種子が舞わないようにビニール袋につめましょう

☐ 種子が飛ばないようにしよう！！

- 駆除は簡単ですが、種子がたくさん飛んで広がるのでやっかいです。
- 実がなると種子がすぐに風に舞ってしまいます。全部を風で舞わないようにするのは無理ですが、少しでも飛んでゆく種子を減らすよう、その場で袋詰めし、密封しましょう。
- 抜いた後は、種子が落ちないように袋に密閉して、その場で枯らした後に燃えるゴミとして捨てましょう。

※特定外来生物のため、栽培や種子の所持が禁止されています。

トピック

- 1つの株あたり約10,000個以上の種子を作り、風に舞って分布を拡げます。
- 1976年に徳島県鳴門市で見つかったのがナルトサワギクと名づけられました。また兵庫県神戸市でも見つかったのでコウベギクとも呼ばれていました。
- 現在のところ、福島県では、いわき市のみで確認されていますが、温暖化に伴って他市町村に拡がるおそれがあります。

ハリエンジュ

科 マメ科

原産地 北アメリカ

大きさ 高さ25mに達する

サヤエンドウの
ような実

葉は3~11対の先が
丸い小葉から成る

香りのよい白い花

枝に鋭いとげ

似た生物との見分け方

イヌエンジュ



イヌエンジュは在来植物です。枝にとげがありません。小葉も3~6対で先がとがります。また、枝を折るとソラマメのような匂いがします。

イタチハギ(外来種)



イタチハギは生態系への影響が大きい外来種です。枝にとげがなく、花が黒紫色です。丈も大きくありません。

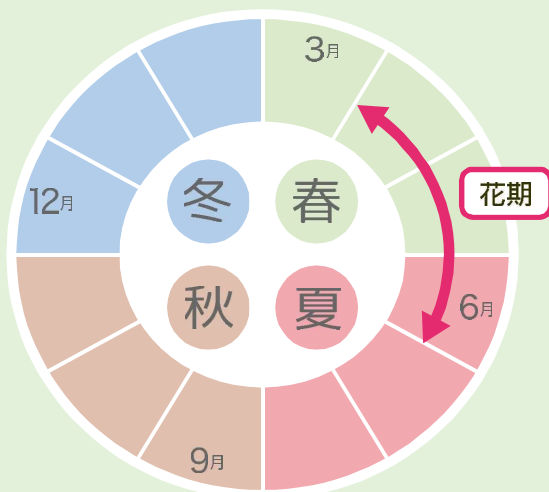
他にも、エンジュなど、似た見た目の植物がいくつかありますが、そのほとんどが外来の園芸植物です。

生 態

市街地、荒れ地、土手、河原、植林地などの明るい場所を好みます。種子で増えるほか、地下に伸びた根や、切り株からも芽を出します。成長がとても早い樹木です。

生活史

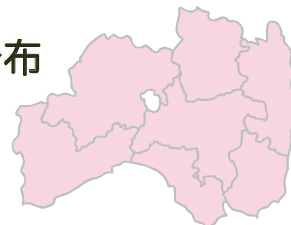
落葉高木で、花は4~6月に咲き、9~11月に結実します。



● 生息場所



● 分布



：分布地域

● 分類

植物

主な被害

生態系 急速に成長して、在来の植物を覆い被圧します。
ミツバチなどの送粉者をめぐり、在来の植物と競合します。
土壤環境を変え、その土地の植物相に影響を与えます。

産業 家畜が樹皮を食べると中毒を起こします。

生活 折れたり倒れたりしやすいため、
人身被害の原因となります。



土手に入り込んだようす

☑ 防除方法

☐ 有用樹だけど外来種です！！

- 緑化や「アカシア蜂蜜」のために植栽されましたが、全国の河川などで大繁殖しています。
- 一度植えると種子や根で広がります。また、駆除は困難です。安易に植栽しないようにしましょう。

☐ 効果的な駆除法がありません！！

- 木が小さければ根から掘り取りましょう。大きくなればなるほど防除が困難になります。
- 大きい木は伐採しか防除方法がありません。葉のない12～2月が伐採適期です。伐採後も切り株や根から芽が再生するため、根気よく繰り返し伐採しましょう。
- 伐採後の切り口への除草剤の塗布も効果があります。



春にはたくさんの花を咲かせ、
蜂蜜をつくるミツバチの重要な蜜源になります

トピック

東京都多摩川でハリエンジュなどの除去と高水敷の削り取りを行った事例では、10年経った今も河原に生息する植物を維持することに成功しています。



他にもいるよ外来種

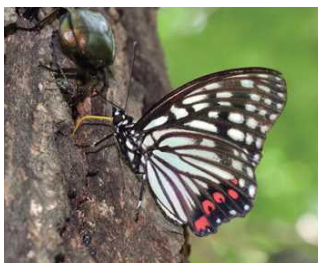
このハンドブックで取り上げている外来種以外にも、福島県内で着々と増えつつあるものが多く存在します。下記はほんの一部ですが、県内で確認されている外来種をいくつか紹介します。より多くの外来種を知り、その存在に注意を払いましょう。



コブハクチョウ



タイリクバラタナゴ



アカボシゴマダラ



オオカワヂシャ

こんなときはどうする？

Q1 自宅の庭や畑にオオハンゴンソウが生えているのですが、どうすればいいですか？

A1. 自宅の庭や畑で植物を防除する際には許可は不要です。オオハンゴンソウは特定外来生物のため、栽培が禁止されています。P.43を参考に防除にご協力をお願いします。

Q2 捕獲、採取した外来種はどのように処分すればよいですか？

A2. 極力苦痛のない方法での殺処分が基本になります。殺処分に抵抗を感じるかもしれませんが、地域の生態系と生物多様性を守るために必要な行為であることをご理解ください。また、植物を処分する場合は、種子などがこぼれ落ちないような措置をとりましょう。

Q3 アメリカザリガニやミシシッピアカミミガメを捕まえたのですが、飼育してもよいですか？

A3. ペットとして飼育することは禁止されていません。ただし、2023年6月1日から特定外来生物に指定され、飼育個体を野外に放つ行為は禁止されます。一度家に持ち帰ったら、最後まで責任を持って飼いましょう。

このハンドブックに
掲載されている

外来種をみつけたときの連絡先

これらの外来種をみつけたとき、駆除を行うときの相談は以下の窓口までご連絡ください。

1. お住まいの市町村の外来種に関する担当課

※担当課のない市町村もありますので、代表窓口にご確認ください。

2. 福島県各地方振興局 環境担当課

県北地方振興局 県民環境部 県民生活課	TEL:024-521-2709
県中地方振興局 県民環境部 県民生活課	TEL:024-935-1295
県南地方振興局 県民環境部 県民生活課	TEL:0248-23-1548
会津地方振興局 県民環境部 県民生活課	TEL:0242-29-5295
南会津地方振興局 県民環境部 県民環境課	TEL:0241-62-2061
相双地方振興局 県民環境部 県民生活課	TEL:0244-26-1144
いわき地方振興局 県民部 県民生活課	TEL:0246-24-6203

3. 福島県 生活環境部 自然保護課

TEL:024-521-7210

外来生物法に関する相談は以下の窓口までご連絡ください。

環境省 東北地方環境事務所 野生生物課 TEL: 022-722-2876



表紙イラストから探してみよう

表紙にはこのハンドブックで紹介した外来種たちが散りばめられています。中には在来種も隠れていますよ。間違えずにうまく見つけられますか？

写真提供者一覧も右記QRコードからご覧になれます。

答えはコチラ！



